

テーマ別・学習スポット

せんだいけんぶんろく 仙台見聞録

(公財)仙台観光国際協会

〒980-0804 仙台市青葉区一番町 3 丁目 3-20
東日本不動産仙台一番町ビル 6 階
TEL: 022-268-9568 FAX: 022-268-6252

<https://www.sentia-sendai.jp/>

※状況によっては、各施設の受け入れ状況は予告なく変更される可能性があります。詳しくは事前に各施設にお問い合わせください。

(最終更新 令和 5 年 12 月)

仙台見聞録 見学・体験学習実施 施設・団体一覧

テーマ	施設・団体名	ページ
震災学習	震災遺構仙台市立荒浜小学校	1
	みちのく震録伝（東北大学災害科学国際研究所）	2
	せんだい3.11メモリアル交流館	3
	南蒲生浄化センター	4
	NHK仙台放送局	5
歴史・伝統文化	仙台市縄文の森広場	6
	仙台市富沢遺跡保存館(地底の森ミュージアム)	7
	伊達政宗公御霊屋 瑞鳳殿	8
	仙台城見聞館	9
	仙台市戦災復興記念館	10
	史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設	11
	国宝大崎八幡宮	12
	青葉神社	13
文化・芸術	定義如来西方寺	14
	宮城県美術館	15
	カメイ美術館（こけし絵付け）	16
	仙台文学館	17
環境・エネルギー	仙台万華鏡美術館	18
	仙台市松森工場	19
	仙台市葛岡リサイクルプラザ	20
	東北電力新仙台火力発電所	21
自然・化学	スリーエム仙台市科学館	22
	仙台市天文台	23
	仙台うみの杜水族館	24
	東北大学 植物園	25
	東北大学 理学部自然史標本館	26
	カメイ美術館（蝶の不思議）	27
	仙台市八木山動物公園	28
	カントリーパーク新浜	29
社会・生活	仙台市大倉ふるさとセンター	30
	仙台市市民活動サポートセンター	31
	仙台市水道記念館	32
	仙台市歴史民俗資料館	33
	メガネの相沢 メガネの歴史館	34
	仙台高等裁判所・仙台地方裁判所・仙台家庭裁判所	35
産業・職場	鐘崎 総本店 笹かま館	36
	キリンビール仙台工場	37
	JRフルーツパーク仙台あらはま	38
	クラフト空間夢工房・工芸ギャラリーZEN	39
	（株）こばやし	40
	笹氣出版印刷株式会社 笹っぱ活字館	41
	産業見本市会館「サンフェスタ」	42
	仙台朝市商店街振興組合	43
	日本銀行仙台支店	44
	仙台三越	45
	みやぎ産業交流センター 夢メッセみやぎ	46
	AO BA	47
	七十七銀行金融資料館	48
	FabLabSENDAI - FLAT	49
	専門学校 赤門自動車整備大学校	50
スポーツ・エンターテインメント	宮城県専修学校各種学校連合会	51
	八木山ベニーランド	52
	楽天生命モバイルパーク宮城	53
	カメイアリーナ仙台（仙台市体育館）	54
大学	ユアテックスタジアム仙台	55
	石巻専修大学	56
	仙台大学	57
	東北学院大学 土樋キャンパス	58
	東北学院大学 五橋キャンパス	59
	東北工業大学 一番町ロビー	60
	東北大学 附属図書館	61
	東北大学 金属材料研究所 本多記念館	62
	東北大学 金属材料研究所 1号館ロビー	63
	東北芸術工科大学	64

震災学習

震災遺構仙台市立荒浜小学校

津波の脅威や教訓を後世に伝える

施設概要

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、児童や教職員、住民ら320人が避難し、2階まで津波が押し寄せた荒浜小学校。

津波による犠牲を再び出さないため、その校舎を震災遺構として公開し、津波の脅威や教訓を後世に伝えていきます。



見学内容

- 校舎外周・1階・2階では、校舎の被害状況や被災直後の様子を伝える写真などから、荒浜小学校を襲った津波の脅威を知ることができます。
- 4階では、地震発生から避難者全員が救出されるまでを映像や写真で振り返るとともに、災害への備え、荒浜地区の歴史や文化、荒浜小学校の思い出などを展示しています。
- 屋上からは、荒浜地区全体を見渡しなが、被災前後の風景を比較することができます。
- 津波被害にあった住宅の基礎や浸食された地形の一部を海岸へ徒歩7分の場所に保存し、公開しています。



【インフォメーション】

開館時間
見学所要時間
予約
説明者
受入人員
アクセス

9:30～16:00 (7,8月は9:30～17:00)

60分

職員による案内を希望する場合、また大人数の場合もご予約ください
施設職員

1時間あたりおおむね40人程度×3グループまで(応相談)

公共交通機関：地下鉄東西線「荒井駅」から仙台市営バス「震災遺構仙台市立荒浜小学校」行き終点下車(荒井駅から約15分)

車：仙台東部道路 仙台東ICから約10分(敷地内に無料駐車場有)

大型バス駐車
休業日

5台有

毎週月曜日、第4木曜日(祝日を除く)、年末年始

料金

無料

【お問い合わせ】

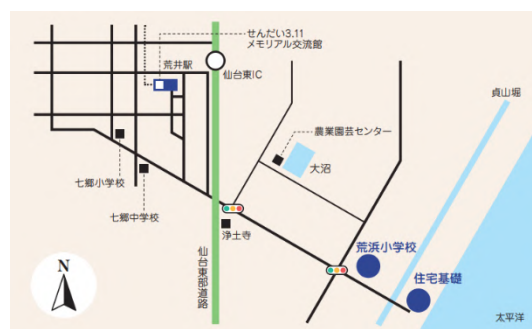
震災遺構仙台市立荒浜小学校

〒984-0033

宮城県仙台市若林区荒浜字新堀端32-1

電話・FAX 022-355-8517

<https://arahama.sendai311-memorial.jp/>



震災学習

みちのく震録伝

震災記録から見た防災・減災講座

施設概要

東日本大震災という未曾有の災害を経験した東北大学は、新たな研究組織「災害科学国際研究所」を設立し、東北大学の英知を結集して被災地の復興・再生に貢献するとともに、国内外の大学・研究機関と協力しながら、自然災害科学に関する世界最先端の研究を推進します。

東日本大震災の経験と教訓を踏まえた上で、わが国の自然災害対策・災害対応策や国民・社会の自然災害への処し方そのものを刷新し、巨大災害への新たな備えへのパラダイムを作り上げることで、国内外の巨大災害の被害軽減に向けて社会の具体的な問題解決を指向する実践的防災学の礎を築くことを目標としています。

体験概要

東北大学の「みちのく震録伝」では、東日本大震災の経験と教訓をテーマに、映像・写真・研究効果等を使った分かりやすい講義を開講します。講義内容は地震・津波・土砂災害・地域防災・SDGs等幅広い分野より選択可能で、防災・減災への理解を深めることができます。



【インフォメーション】

講義実施時間
体験所要時間
予約

8:30～17:00（通年） ※土日祝日は要相談
60分～1日
要予約（（公財）仙台観光国際協会までお問い合わせください）

案内人・指導員
受入人員

東北大学災害科学国際研究所准教授など
東北大学災害科学国際研究所内の場合、10名～100名（100名以上は応相談）
＜対象＞小学生・中学生・高校生
※オンラインでのリモート講義も実施可能です

交通案内
大型バス駐車
休業日
料金

地下鉄東西線「青葉山駅」下車3分
最大3台（要予約）
土・日・祝日
5,000円／回（40名以上の会場を使用する場合）
※詳細はお問い合わせください

【受入先】

東北大学災害科学国際研究所
〒980-0845
仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1

【予約・お問合せ先】

（公財）仙台観光国際協会 観光事業推進課
022-268-9568



震災学習

せんだい 3.11 メモリアル交流館

東日本大震災の記憶と経験を未来につなぐ

施設概要

2011 年 3 月 11 日。

大きな痛みとともに、数々の大切なことを私たちの中に呼び覚ますことになったあの日を起点にして、過去を見つめ直し、今までを振り返りながら、これからをともに考え、語り合い、自由に表現する。

せんだい 3.11 メモリアル交流館は、東日本大震災を知り学ぶ場であるとともに、津波により大きな被害を受けた仙台市東部沿岸地域への玄関口でもあります。記憶と経験を媒介に、コミュニケーションを通じて知恵と教訓を紡ぎ出し、未来へ、世界へとつないでいく拠点となります。



見学内容

●1 階交流スペースは、津波浸水区域等を表示する立体地図やスライド、図書コーナーなど、仙台市東部沿岸地域の情報を発信しています。

●2 階展示室は、震災被害や復旧・復興状況などを伝える常設展と、様々な切り口から震災を伝えていく企画展で構成されています。

●2 階スタジオは、見学の振り返り、研修などにご利用いただけます。（要予約）

●職員による展示の説明をご希望の場合、ご予約ください。

【インフォメーション】

開館時間
見学所要時間
予約
説明者
受入人員
アクセス

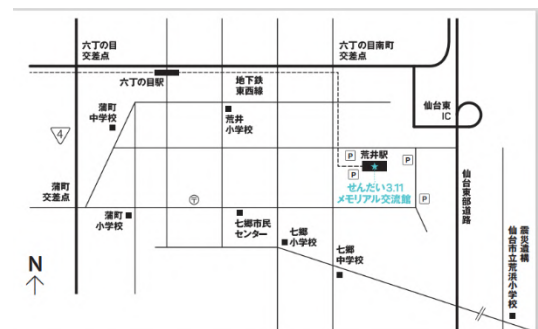
大型バス駐車
休業日

料金

10:00～17:00
30～60 分（職員による説明を希望する場合は約 60 分）
職員による説明を希望する場合、また大人数の場合は要予約
施設職員による説明
約 60 名まで（応相談）
地下鉄東西線「荒井駅」内（仙台駅から荒井駅まで 13 分）
仙台東部道路 仙台東 I.C より車で 5 分（近隣の有料駐車場利用）
なし
毎週月曜日（祝日の場合はその翌日）、祝日の翌日（土・日曜日、祝日を除く）、
年末年始
無料

【お問い合わせ先】

せんだい 3.11 メモリアル交流館
〒984-0032
仙台市若林区荒井字沓形 85-4
（地下鉄東西線荒井駅内）
電話 022-390-9022
<http://sendai311-memorial.jp/>



震災学習

仙台市 建設局 南蒲生浄化センター

下水を浄化する仕組みを学ぼう

施設概要

仙台市の約 7 割の汚水を処理する東北最大の下水処理場で、1 日に約 30 万トンの下水を処理しています。平成 28 年に東日本大震災からの復興を遂げ、地震や津波に強く、環境に配慮した未来志向型の処理場に生まれ変わりました。

仙台市中心部から流された下水は約 2 時間ほどで浄化センターに到着、それから約 8 時間かけて浄化し、太平洋に放流します。

施設見学では、復興の様子や、新しくなった水処理の仕組みを学ぶことができます。



体験概要

震災発生から復興までの様子、新水処理施設による水処理の仕組みを、ビデオ上映や見学される方のご要望に合わせた資料により、ご説明いたします。

●管理棟 4 階大会議室(定員 80 名)で、職員による施設の概要説明を行います。

●震災時の様子や、新水処理施設の役割と仕組みをビデオにてご覧いただきます。(10 分～20 分程度)

●被災した旧施設を、現地でご覧いただきます。

●管理棟 1 階で、震災時のパネル展示を行っています。

※見学内容につきましては、予めご担当者様と調整いたします。

【インフォメーション】

体験・見学実施時間

平日 9:00～16:00

見学所要時間

30 分～120 分程度（内容による）

予約

要予約

案内人・指導員

職員による案内

受入人員

1 回の開催につき 80 名まで

交通案内

※80 名を超える場合は班分け等により対応します

・仙台東部道路「六丁の目 IC」より車で約 10 分

・JR 仙石線「陸前高砂駅」より車で約 15 分

・地下鉄東西線「荒井駅」より車で約 20 分

大型バス駐車

有（事前にご相談ください）

休業日

土曜・日曜・祝祭日・年末年始休業日

料金

無料

【お問い合わせ先】

仙台市南蒲生浄化センター

〒983-0002

仙台市宮城野区蒲生字八郎兵工谷地第二

電話 022-258-1095

FAX 022-258-6889

<http://www.city.sendai.jp/soshikikanri/shise/gaiyo/soshiki/141/159.html>



震災学習

NHK 仙台放送局

地域と全国へ発信するニュース・番組の制作・放送

施設概要

NHK仙台放送局は昭和3年に開局してラジオ放送を開始しました。現在は、東日本大震災関連の地域に密着したさまざまなニュース・番組の制作・放送に積極的に取り組んでいます。1階・2階の展示スペース「定禅寺メディアステーション」では、東日本大震災から得られた実情と教訓を伝承する「震災伝承施設」に認定されています。2階では地震発生から72時間の放送映像、「あの日」を伝える放送資料や震災伝承施設マップ、VR映像（震災語り部の映像）などをご覧いただけます。そのほか、8Kスーパーハイビジョンの映像を体験できる280インチの大型ディスプレイやギャラリーがあります。



見学体験概要

- ・東日本大震災メモリアル
東北の復興への思いや教訓を年表や当時の映像でお伝えします。地震発生から復興、そして伝承施設へいざないます。
- ・VR映像体験
震災に関するVR映像や各地のお祭りの映像などをご覧いただけます。
(13歳未満はタブレット映像視聴)
- ・3.11 シアター
クイズ形式で子供から大人まで学べる
「あの日」から学ぶ 地震だ!みんなはどうする」などを上映

※案内付き見学と自由見学では、ご覧いただけるメニューが変わります。ご確認ください。

【インフォメーション】

見学所要時間
予約
案内人・指導員
受入人員
交通案内
大型バス駐車
休業日

40分
不要（自由見学の場合／20名までの団体は要予約）
案内付は火曜～金曜で実施／自由見学(案内なしも可)
1回につき20名まで／自由見学は人数制限あり
地下鉄南北線「勾当台公園駅」から徒歩5分
なし
月曜日（月曜が祝日の場合は翌火曜日）、年末年始、
※一般の方対象の団体見学は震災伝承ツアーのみ実施しています。
※詳しくはお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

NHK仙台放送局
〒980-8435
仙台市青葉区本町 2-20-1
電話 022-211-1001

<https://www.nhk.or.jp/sendai/>



歴史・伝統文化

仙台市縄文の森広場

4000年前の縄文人の暮らしを体験しよう

施設概要

昭和 55 年に発掘された縄文時代中期のムラの跡である山田上ノ台遺跡を保存・活用する施設です。縄文時代のムラと周辺の環境を復元し、縄文人の暮らしを楽しみながら体験する場を提供しています。



見学体験概要

復元した竪穴住居や、ムラのようなすを表した模型、遺跡から出土した土器や石器などを見学できるほか、勾玉づくりや火おこしなどの縄文体験に挑戦することができます。

※体験希望の方は HP をご確認ください。

- ・勾玉づくり：200 円(約 90 分～)
 - ・石のアクセサリーづくり：100 円 (約 60 分～)
 - ・土器・土笛づくり：100 円～(約 60 分～)
- 約 1～2 ヶ月後の引渡し
- ・火おこし：100 円(約 30 分～)

【インフォメーション】

見学体験実施時間
見学体験所要時間
予約

9:00～16:45／(最終入館 16:15)

見学所要約 60 分 体験はメニューにより (30 分～90 分)

見学のみであれば不要

案内人・指導員
受入人員
交通案内

案内説明を希望の場合や、10 名以上で体験を希望の場合は 2 週間前までに要予約
職員・ボランティアが対応

100 名程度 (体験内容により人数制限有り：ご相談ください)

仙台駅西口バスターミナル宮城交通 7 番、8 番のりばから 「秋保温泉」「日本平」

「南ニュータウン」「茂庭台」行きで約 40 分 山田・太白消防署前下車徒歩 5 分

仙台南 IC から車で約 10 分 山田 IC から車で約 5 分

大型バス駐車
休業日

3 台可

毎週月曜日 (休日の場合は開館)、休日の翌日 (土日・休日の場合は開館)、1 月～11 月の第 4 木曜日 (休日は開館)、年末年始 (12/28～1/4)

展示室観覧料

区分	個人	団体(30 名以上)	地底の森ミュージアム共通券
一般・大学生	200 円	160 円	490 円
高校生	150 円	120 円	280 円
小・中学生	100 円	80 円	150 円

【お問い合わせ先】

仙台市縄文の森広場

〒982-0815 仙台市太白区山田上ノ台町 10 番地 1

電話 022-307-5665

FAX 022-743-6771

E-mail j-hiroba@cap.ocn.ne.jp

<https://www.sendaic.ed.jp/~bunkazai/~jyoumon/>

※最新の情報は HP でご確認ください。



歴史・伝統文化

仙台市富沢遺跡保存館（地底の森ミュージアム）

「世界中でここだけ」—2 万年前の氷河期の世界がよみがえる—

施設概要

旧石器時代を中心としたテーマミュージアムです。発掘された2万年前の旧石器時代の遺跡を現地で保存し公開するとともに、発見された資料などから当時の環境と人間の活動を生き生きとよみがえらせる展示をしています。



見学体験概要

地下展示室では約2万年前のたき火や森の跡を見つけたままの姿で保存し、展示しています。発掘調査の結果から、2万年前の富沢でのできごとを復元映画として見るができます。1階の展示室では、発掘調査でわかったことを富沢博士が謎解きしながら説明しています。

【インフォメーション】

見学体験可能時間

9:00～16:45（最終入館 16:15）

見学体験所要時間

約 60 分

予約

展示解説が必要な場合は事前にご連絡ください

案内人・指導員

職員・ボランティア

受入可能人員

特になし（100 名以上の場合はご相談ください）

交通案内

地下鉄南北線「仙台駅」から「富沢駅」行きに乗車、「長町南駅」下車、西1番・西2番出口より西方へ徒歩約5分

大型バス駐車

3 台可

休業日

月曜日（休日にあたる日は開館） 休日の翌日（土・日曜日・休日にあたる日は開館）

入館料

1 月～11 月の第 4 木曜日（休日は開館） 年末年始（12/28～1/4）

一般 460 円（360 円）、高校生 230 円（180 円）、小・中学生 110 円（90 円）

※（ ）内は団体（30 名以上）料金

※仙台市縄文の森広場と両館利用の際お得な共通入場券あり

【お問い合わせ先】

仙台市富沢遺跡保存館（地底の森ミュージアム）

〒982-0012

宮城県仙台市太白区長町南 4-3-1

電話 022-246-9153

FAX 022-246-9158

E-mail t-forest@coral.ocn.ne.jp

[https://www.sendai-](https://www.sendai-c.ed.jp/~bunkazai/~chiteinomori/)

[c.ed.jp/~bunkazai/~chiteinomori/](https://www.sendai-c.ed.jp/~bunkazai/~chiteinomori/)



歴史・伝統文化

伊達政宗公霊屋 瑞鳳殿

仙台藩祖伊達政宗についてもっと詳しく知りたい

施設概要

戦国時代、東北地方南部を自らの領地にして「独眼竜政宗」として有名になった武将・伊達政宗。江戸時代には仙台藩の初代藩主として62万石を治めました。瑞鳳殿は政宗の遺言によって造られたお墓です。墓石ではなく霊屋（おたまや）と呼ばれる豪華絢爛な色使いの建物です。また、発掘された副葬品を見ることができ、伊達氏の文化を学習することができます。



見学体験概要

敷地内には政宗の霊屋である瑞鳳殿をはじめ、二代藩主の感仙殿、三代藩主の善応殿を見ることができます。再建されたこれらの建物は、創建当時の鮮やかな色彩や豪華な彫刻装飾が再現され、江戸時代初期の伊達氏のお墓の形式を見ることができます。併設の資料館では、瑞鳳殿の見所を約8分の映像で紹介しており、副葬品や、骨から復元された政宗をはじめとする三藩主の復顔像などを展示しています。

- ①伊達政宗とはどのような人物だったのだろうか。
- ②二代忠宗、三代綱宗とはどのような人物だったのだろうか。
- ③豪華絢爛といわれる桃山時代の遺風を伝える霊屋建築とはどのようなものだろうか。

【インフォメーション】

見学体験実施時間

[2/1～11/30] 9:00～16:50(最終入館 16:30)、[12/1～1/31] 9:00～16:20 (最終入館 16:00)

見学体験所要時間

40分～60分

予約

児童生徒の学習利用の場合は事前に連絡・予約することで質問への対応を行います。

案内人・指導員

要問合せ

交通案内

仙台駅西口バスターミナル 16 番のりばから「るーぷる仙台」で 13 分、「瑞鳳殿前」下車、徒歩 7 分。市営バス 11 番のりば、宮交バス 12 番のりばから 15 分、「霊屋橋瑞鳳殿入口」下車、徒歩 10 分。

大型バス駐車

可

休業日

12/31 (1/1 は瑞鳳殿本殿のみ無料開館)

観覧料

区分	個人	団体 20 名以上	50 名以上及び障害者
一般・大学生	570 円	460 円	360 円
高校生	410 円	310 円	210 円
小・中学生	210 円	160 円	110 円

【お問い合わせ先】

(公財) 瑞鳳殿 事務局

〒980-0814

仙台市青葉区霊屋下 23-2

電話 022-262-6250

FAX 022-262-6251

<https://www.zuihoden.com/>

※最新の情報は HP 等でご確認ください



歴史・伝統文化

仙台城見聞館

仙台城跡の見どころを知りたい

施設概要

仙台城見聞館は、史跡仙台城跡のガイダンス施設です。平成 18 年に開館、平成 27 年にリニューアルオープンしました。

仙台城は、仙台藩初代藩主 伊達政宗が江戸時代に築いた城です。城の中心である本丸は、二代藩主忠宗が二の丸を造るまで、仙台藩の政治の中心でした。

明治時代になると仙台城は政府の管理となりました。その後、本丸の建物は明治 7 年（1874）頃までに壊され、残っていた大手門や脇櫓、巽門も、第二次世界大戦の空襲で昭和 20 年（1945）に燃えてしまいました。

当時の様子を残すものには石垣や土堀、土塁などがあります。平成 15 年（2003）8 月には、近世を代表する城跡と評価され、国の史跡になりました。



見学概要

館内では、仙台藩の儀式や政務を執り行った本丸大広間に関連した展示を中心に、仙台城跡の見どころについて分かりやすく解説しています。大広間の 50 分の 1 復元模型や、藩主が座った場所（上段の間）の背後にあった床の間を原寸大で再現した展示のほか、仙台城跡の発掘調査などの映像もご覧いただけます。施設の隣には、発掘調査成果に基づいて、大広間跡の遺構が復元整備されています。伊達政宗騎馬像がある本丸跡からの見晴らしは大変良く、市中心部が一望できます。

【インフォメーション】

見学実施時間
見学所要時間
受入人数
予約
案内人・指導員
交通案内
(バス)

9:00～17:00
20～30 分
5～20 人
不要
なし
① 「るーぷる仙台」で仙台駅より約 26 分「仙台城跡」下車
② 地下鉄東西線「八木山動物公園駅」3 番のりば（青葉台行き）より約 3 分
③ 地下鉄東西線「青葉山駅」10 番のりば（八木山動物公園駅・青葉台行）より約 5 分、「仙台城跡南」下車すぐ
なし
なし
無料

大型バス駐車
休業日
入場料

【お問い合わせ先】

仙台市教育委員会文化財課

〒980-0011 仙台市青葉区上杉 1-5-12

電話 022-214-8544 FAX 022-214-8399

<https://www.city.sendai.jp/shisekichosa/kurashi/manabu/kyoiku/inkai/bunkazai/bunkazai/joseki/index.html>

※最新の情報は HP 等でご確認ください。

歴史・伝統文化

仙台市戦災復興記念館

仙台空襲と復興事業を知る

施設概要

1 階の資料展示室では、仙台空襲と復興事業の記録を保存し、仙台市の今日の発展の陰にあった戦災と復興の全容を後世に伝えています。また当館には 270 名収容の記念ホール、大小 11 の会議室等があり、市民の文化・自主活動の場として利用していただいております。



見学概要

昭和 20 年 7 月 10 日の仙台空襲で、1 0 0 0 名を超える人命が失われ、市内約 500ha のエリアが焼失しました。当館の資料展示室では、この仙台空襲を中心にしつつ、戦前の仙台がどのように発展し、また戦後どのように復興してきたかを学べるように、様々な写真・資料を展示しております。



【インフォメーション】

見学実施時間
見学所要時間
予約
案内人・指導員
交通案内

9:00～17:00（最終入館 16:30）

20～30 分

不要（団体の場合はご相談ください）

なし

地下鉄南北線「広瀬通駅」下車、西 4 番出口から徒歩約 10 分、東西線「大町西公園駅」下車、東 1 番出口から徒歩約 6 分

仙台駅前西口バスターミナル 15 番からバス（全便可）「東北公済病院・戦災復興記念館前」下車徒歩 5 分、各方面から「電力ビル前」下車徒歩 10 分

大型バス駐車
休業日
入場料

なし

年末年始（12/29～1/3）及び施設点検日（不定期）

るーぷる仙台一日乗車券、市バス・地下鉄一日乗車券提示で団体料金適用

区分	個人	団体(20 名以上)
一般（高校生以上）	120 円	90 円
小・中学生	60 円	40 円

【お問い合わせ先】

仙台市戦災復興記念館
〒980-0804
仙台市青葉区大町 2-12-1
電話 022-263-6931
FAX 022-262-5465
<https://www.hm-sendai.jp/sisetu/sensai/>



歴史・伝統文化

史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設

陸奥国分寺と陸奥国分尼寺の歴史を知りたい

施設概要

聖武天皇の詔により奈良時代に建立された陸奥国分寺跡のガイダンス施設で、平成 29 年 7 月に開館しました。

史跡陸奥国分寺・尼寺跡の歴史的な意義などの解説展示のほか、作業・学習室があります。

建物に併設された休息施設「天平廻廊」は、当時あった廻廊（廊下）を伝統工法と現代工法により再現したものです。その屋根瓦は陸奥国分尼寺跡から出土した瓦の文様を再現しており、鮮やかな朱色の柱はこの施設全体をイメージづけるものとなっています。



見学内容

陸奥国分寺・国分尼寺の創建や、今から千百年以上も前の平安時代に起きた貞観地震を経て、寺やこの地域が復興するまでの歴史等を、パネルや発掘調査の出土品を展示して、わかりやすく紹介しています。ガイドボランティアによる館内や史跡地内の無料ガイドも実施しております。50 名程度収容できる作業・学習室は、講義や体験活動などの学習場としても利用できます。施設周辺の多目的広場や緑地広場は、史跡を訪れた人が散策や休憩などでゆったりと過ごすことのできる空間です。



【インフォメーション】

見学可能時間

9:00～17:00（最終入館 16:45）

見学所要時間

20 分

予約

入場・見学のみ場合は予約不要です。作業・学習室や広場の利用、ガイドの依頼については事前にご連絡をお願いいたします。

案内人

陸奥国分寺薬師堂ガイドボランティア会

アクセス

地下鉄東西線 「薬師堂駅」下車徒歩 3 分

仙台市営バス「薬師堂駅・霞の目（営）」行き乗車「国分寺薬師堂前」下車、「薬師堂行き」乗車「薬師堂駅」下車

大型バス駐車

事前に相談ください

休業日

なし

料金

無料

【お問い合わせ】

仙台市教育委員会文化財課

電話 022-214-8893

【所在地】

〒984-0047

仙台市若林区木ノ下 2-5-1

<https://www.city.sendai.jp/sebikatsuyo/gaidanceshiisetu.html>

※最新の情報は HP 等でご確認ください。



歴史・伝統文化

仙台総鎮守 国宝 大崎八幡宮

神社とくらしの関わりについて学ぼう

施設概要

平安の昔、東夷征伐に際し、坂上田村麻呂は、武運長久を祈念すべく武門の守護神である宇佐八幡宮を岩手県水沢市に勧請、鎮守府八幡宮を創祀しました。その後、室町時代に奥州管領大崎氏は、これを自領内の田尻町に遷祀し、守護神として篤く崇敬したため、世に大崎八幡宮と呼ばれました。大崎氏滅亡後は、伊達政宗公が居城の岩出山城内の小祀にご神体を遷し、仙台開府後、現在の地に祀られました。当社殿は、安土桃山建築を代表する遺構であり、現存する最古の権現作りの社殿建造物として国宝に指定されています。



見学概要

大崎八幡宮の由来を学びます。神社の儀式やしきたり、毎年の行事やその行事の持つ意味を理解します。また、神社を支えている氏子の活動について学びます。

- ① なぜ国宝になったのだろうか。
- ② 大崎八幡宮には、毎年どのような行事があるのだろうか。また、八幡宮と氏子の関わりはどのようになっているのだろうか。



仙臺藩総鎮守 国宝 大崎八幡宮 九月 例大祭 神幸祭

【インフォメーション】

見学実施時間
見学所要時間
予約
案内人
受入人員
交通案内

9:00～17:00
30 分
自由参拝
あり（但し、土日・祝祭日）
5～40 名
仙台駅西口バスターミナル 14 番のりばより市営バス、または 16 番のりばより一ふる仙台「大崎八幡宮前」下車すぐ
JR 仙山線「東北福祉大学前駅」または「国見駅」より徒歩約 10 分あり（2 台分）※事前に電話でご確認ください。
なし
無料

大型バス駐車
休業日
料金

【お問い合わせ先】

大崎八幡宮
〒980-0871
仙台市青葉区八幡 4-6-1
電話 022-234-3606
FAX 022-273-1788

<https://www.oosaki-hachiman.or.jp/>

※最新の情報は HP 等でご確認ください。



歴史・伝統文化

仙台藩祖伊達政宗公を祀る青葉神社

仙台・青葉祭りについて学ぼう

施設概要

仙台・北山に位置する仙台藩祖伊達政宗公を祀る神社です。戊辰戦争で伊達家が賊軍として敗れた後の明治7年(1874年)、政宗公を慕う住民らの手で造営された神社です。仙台には、戦国武将を祭神とする神社が2つあります。権現様(徳川家康公)を祭神とする東照宮とこの青葉神社です。この二社を貫く心柱のような一つの営みが「仙台・青葉まつり」なのです。



見学概要

青葉神社の由来、市民との関わり、そして、青葉まつりの原点について学びます。

- ① 青葉神社はなぜ建立されたのですか。
- ② 仙台・青葉まつりは、いつから、どのような理由で行われるようになったのですか。
- ③ 青葉神社には、毎年どのような行事があるのですか。また、市民との関わりはどのようなになっているのですか。



【インフォメーション】

見学実施時間
見学所要時間
予約
案内人・指導員
受入人員

9:00～17:00
40分
案内人付の場合は事前に要予約
あり
10～40名

交通案内

仙台駅西口バスターミナル9番のりばより
北山子平町循環乗車、「通町二丁目」下車
徒歩7分
地下鉄南北線「北仙台駅」より徒歩7分



大型バス駐車
休業日
料金

なし
なし
無料

【お問い合わせ先】

青葉神社社務所
〒981-0916
仙台市青葉区青葉町 7-1
電話 022-234-4964



歴史・伝統文化

定義如来西方寺

庶民信仰の祈禱寺

施設概要

定義如来西方寺は、平家落人伝説にまつわる阿弥陀如来の画像軸を本尊とする寺です。御廟（貞能堂）は、六角円堂で、正面に唐破風をもつ珍しい造りで、平成 30 年 3 月、国登録文化財となりました。古くから縁結び、子授けにご利益があるほか、一生に一度の大願も叶えて下さる如来様と言われています。境内には、青森ヒバで造られた五重塔や浄土庭園、由来に関する内容が展示されている資料館もあります。



見学概要

定義如来西方寺の建立の由来や庶民の信仰としてどのようなことが行われているのかを学びます。また、門前町としての歩みや現状を学びます。

- ① 境内には、どのような施設があるのだろうか。また、これらの施設はどのような目的で造られたのだろうか。
- ② 毎年どのような行事がどのような目的で行われているのだろうか。
- ③ 参道には、たくさんのお土産店があるが、名物にはどんなものがあるのだろうか。



【インフォメーション】

見学実施時間

西方寺 8:00～16:00

見学所要時間

資料館 9:00～15:00

予約

60～90 分

案内人・指導員

なし

受入人員

案内人なし

交通案内

資料館のマジックシアター1回 15 名 7 分

大型バス駐車

JR 愛子駅よりタクシー40 分

休業日

バス仙台駅発 14 番のりばから定義行き 90 分

料金

30 台

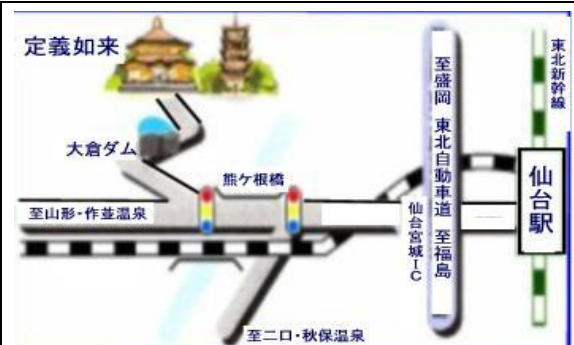
なし

なし



【お問い合わせ先】

定義如来西方寺
〒989-3213
仙台市青葉区大倉字上下 1
電話 022-393-2011
FAX 022-393-2013
E-mail info@jogi.jp
<https://jogi.jp/>



文化・芸術

宮城県美術館（休館中）

見るだけでなく体験できる美術館

施設概要

明治時代以降の作品、宮城県および東北地方にゆかりのある作品、また、カンディンスキーやクレーなど海外作家の作品がコレクションの特色で、宮城県出身の彫刻家である佐藤忠良の作品や戦後日本の絵本原画も収集・展示しています。このほか、年に数回、国内外の美術を紹介する特別展も行います。さらに観るだけでなく作ることによって美術を体験することができる創作室も備えています。



見学体験概要

美術や教育を専門とする職員が事前に相談を受け、来館者の年齢や目的に合わせて、鑑賞プログラムやワークショップの提案、自主鑑賞の支援を行うことなどで、美術館を活用した学習のお手伝いをします。



※学校教育活動の一環として観覧する場合、申請書の提出により、料金の減免があります。（詳細及び申請書様式は当館ウェブサイトでご確認いただくか、当館教育普及部まで。）

【インフォメーション】

見学体験可能時間
見学体験所要時間
予約
案内人・指導員

交通案内

大型バス駐車
休館日

入館料

9：30～17：00（観覧券の販売は16：30まで）

見学：60分程度 体験：活動内容による

スタッフの対応や観覧料の減免を希望する場合は、事前にご相談ください。

専門のスタッフが、年齢に応じた鑑賞プログラム、鑑賞と組み合わせた造形活動などを行っています。（スタッフによる対応をご希望の場合、事前にご連絡ください。）

地下鉄東西線「国際センター駅」西1出口、または「川内駅」北1出口より各徒歩7分。仙台駅西口バスターミナル16番のりばから「るーぷる仙台」乗車、「国際センター駅・宮城県美術館前」下車徒歩3分。東北自動車道「仙台宮城I.C.」より車で約15分。

可（5台）

2025年度中（予定）まで大規模改修工事のため休館しています。

常設展

区分	個人	団体（20名以上）
一般	300円	240円
学生	150円	120円
高校生以下	無 料	

※特別展観覧料は別途。詳細はホームページ等をご確認ください。

【お問い合わせ先】

宮城県美術館

〒980-0861

宮城県仙台市青葉区川内元支倉34-1

電話 022-221-2111

FAX 022-221-2115

E-mail bijutu@pref.miyagi.lg.jp

<http://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/>



文化・芸術

カメイ美術館

こけしの絵付けを体験しよう

施設概要

仙台市に本社のある総合商社カメイ株式会社の創業90周年を記念して設立された、(公財)カメイ社会教育振興財団の事業の一環として、平成6年9月に開館。世界の蝶の標本約14,000頭、甲虫を常設展示しています。その他、東北で生まれ育まれてきた各地の伝統こけしや、日本の近・現代の具象画を中心とした絵画の企画展も開催しています。また、こけし絵付け体験や、蝶の不思議をワークシートで学習する企画もあります。



体験概要

こけしの絵付けを体験します。絵付けしたこけしは包装してお渡しします。

- ① こけしは、いつごろどのような理由で誕生したのだろうか。
- ② 東北に分布しているこけしには、それぞれどのような特徴があるのだろうか。
- ③

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、体験受付は休止しています。

※詳細は随時 HP をご確認ください。



【インフォメーション】

開館時間
見学体験所要時間

11:00～16:00 (最終入館 15:30)
60～90 分
(感染症対策により休止の場合あり)

予約
案内人・指導員
受入人員
交通案内

要予約
案内人付
10 名
JR 仙台駅・西口から徒歩 10 分
地下鉄南北線「五橋駅」北 4 出口から徒歩 3 分
なし
毎週月曜日 (祝日は開館)、年末年始 (12/28～1/4)
白木代 700 円



大型バス駐車
休業日
料金

【お問い合わせ先】

公益財団法人カメイ社会教育振興財団
カメイ美術館
〒980-0022
仙台市青葉区五橋 1-1-23
カメイ五橋ビル 7 階
電話 022-264-6543
FAX 022-264-6544

<https://www.kameimuseum.or.jp>

※最新情報は HP 等でご確認ください



● 駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用下さい。

文化・芸術

仙台文学館

仙台ゆかりの作家と文学の杜で会いましょう

施設概要

若き日を仙台で過ごした詩人、現在この街で創作を続けている作家たち・・・文学館は、彼らの足跡をたどり、豊かな言葉の流れに身をゆだねる場所です。



見学体験概要

常設展示室や企画展示室のほか、文学に関する調査・研究のための情報コーナー、くつろぎと語らいの場となる交流コーナー等、豊かな自然環境の中でゆったりと文学を味わうことができます。

- ① 仙台で中学～高校時代を過ごした作家とその代表作品は・・・。
- ② 明治から昭和の文豪たちが訪れた宮城のスポットを調べてみよう。
- ③ 島崎藤村、土井晩翠、魯迅等の仙台における活動と作品をしらべてみよう。

【インフォメーション】

見学体験実施時間

9:00～17:00（最終入館 16:30）

見学体験所要時間

40 分

予約

不要／案内説明を希望する場合は事前にご連絡下さい。

案内人・指導員

希望により、施設案内、展示解説等をします。

交通案内

仙台駅西口バスターミナル南側 宮城交通バス、仙台市営バス 2 番・3 番・4 番・6 番のりば ※北山トンネル経由以外のバスに乗車
◎北根二丁目・文学館前下車、徒歩 5 分

大型バス駐車

可

休業日

月曜日（祝日・振替休日の場合は開館）、休日の翌日（日曜日、祝日の場合は開館）、第 4 木曜日（12 月を除く）、年末年始（12/28～1/4）

常設展示室観覧料

区分	個人	団体（30 名以上）
一般・大学生	460 円	360 円
高校生	230 円	180 円
小・中学生	110 円	90 円

※特別展観覧料は別に定めます。

【お問い合わせ先】

仙台文学館

〒981-0902

仙台市青葉区北根 2-7-1

電話 022-271-3020

FAX 022-271-3044

<https://www.sendai-lit.jp/>



文化・芸術

仙台万華鏡美術館

見て！さわって！作れる！

施設概要

すばらしい万華鏡を世界に発信できればとの願いから平成 11 年につくられた、世界最初の美術館です。世界各国からあつめられた珍しい万華鏡や陶芸家・辻輝子の陶器の万華鏡等多数を展示しています。



見学体験概要

万華鏡の歴史を学びながら楽しく見学していきます。

館内には様々な万華鏡が陳列してありますので覗いてみてください。オリジナル万華鏡作りができます。

- ①万華鏡は誰が発明したのだろうか。
- ②万華鏡は日本の中で、どのような歩みがあるのだろうか。
- ③オリジナル万華鏡作りに挑戦しよう。

【インフォメーション】

見学体験実施時間

9:30～17:00（最終入館 16:30）

見学体験所要時間 予約

50 分

不要（団体の場合は事前にご連絡ください）

受入人員 案内人・指導員 交通案内

150 名

なし

仙台駅西口バスターミナル 8 番のりばからミヤコーバス秋保温泉行約 40 分「松場」下車、仙台南 I.C から R286 経由車で 15 分

大型バス駐車 休業日

可

無休（冬季のみ臨時休館あり）

入館料

区分	入館料	かんたん体験
一般・大学生	900 円	1,300 円
高校生	450 円	
小・中学校生	450 円	

【お問い合わせ先】

仙台万華鏡美術館

〒982-0251

仙台市太白区茂庭字松場 1-2

電話 022-304-8080

FAX 022-304-8082

<https://sendaikaleidoscope.com/>

※最新の情報は HP 等でご確認ください



環境・エネルギー

仙台市葛岡リサイクルプラザ

ごみ減量やリサイクルについて考えよう

施設概要

葛岡リサイクルプラザは、市民へのごみ減量とリサイクルに関する普及啓発及び実践活動の拠点施設です。リサイクル情報コーナー・リサイクル品の展示、リサイクル工房があります。なお、2階には、TAC 葛岡ウォーターパーク（有料）が併設されています。



見学体験概要

葛岡リサイクルプラザの概要と、ごみ減量・リサイクルの推進について説明しながら展示学習室や、情報コーナーを見学します。

- ① 3R（リデュース、リユース、リサイクル）は、なぜ必要なのだろう？
- ② ごみは、どのように出したらいいのだろう？
- ③ どんなものがリサイクルできるのだろう？
- ④ リサイクルプラザには、どのような物が持ち込まれ、どのようにしてリユースされるのだろう？

【インフォメーション】

見学体験実施時間

9:00～16:30

見学体験所要時間

約 30 分

予約

不要／団体で説明を要する場合は要予約

案内人・指導員

あり

交通案内

市営バス 仙台駅前西口バスターミナル 13 番のりば 南吉成、貝ヶ森・国見ヶ丘、実沢(営)行、「南吉成三丁目」下車徒歩 15 分

仙台宮城 I.C から約 10 分、J R 仙山線「葛岡駅」下車徒歩 15 分

可／要事前連絡

大型バス駐車

休業日

月曜日（祝休日を除く）、祝休日の翌日（土・日・祝休日を除く）、年末年始（12/28～1/4）、隣接する焼却工場の設備点検日（年 1 回）

料金

無料

【お問い合わせ先】

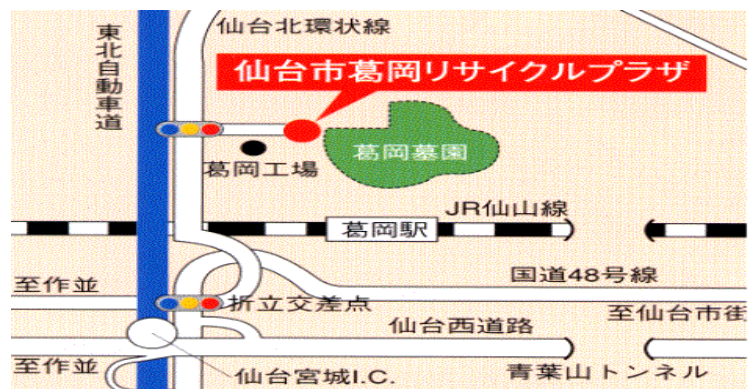
仙台市葛岡リサイクルプラザ

〒989-3121

仙台市青葉区郷六字葛岡 57-1

電話 022-277-8573

FAX 022-277-4638



東北電力新仙台火力発電所

環境にやさしく、災害に強い発電所を見学してみよう

施設概要

新仙台火力発電所 3 号系列は、CO₂ の排出が少ない LNG を燃料としたコンバインドサイクル発電方式を採用しています。最新鋭技術を導入し、世界最高水準となる熱効率 60% 超を達成しています。

東日本大震災の教訓を踏まえ、発電設備の耐震性強化、津波対策として盛土や重要な電気設備を 2 階以上に設置するなど、被災しても 6 ヶ月で復旧する設計としています。



見学概要

PR ホールにて発電所の概要を説明し、その後中央制御室、タービン本館、LNG タンク、LNG 船が着船する栈橋エリアなどを見学します。

【インフォメーション】

見学実施時間

10:00～12:00、13:30～16:00

※見学希望日の 2 週間前までにご予約下さい。ただし、先行予約等がある場合は、お断りさせていただくことがございますので、予めご了承願います

見学所要時間

90 分

受入人数

最大 40 人

予約

要／日時、団体名、人数、見学時間を電話でお知らせ下さい。

案内人

あり

交通案内

JR 仙石線「多賀城駅」から車で約 15 分

仙台東部道路・仙台港北 I.C より車で約 15 分

大型バス駐車

可

休業日

土・日・月曜日、祝日、年末年始

料金

無料

【お問い合わせ先】

東北電力新仙台火力発電所

総務グループ

〒985-0901

仙台市宮城野区港 5-2-1

電話 022-366-1331

FAX 022-366-1371

<https://www.tohoku-epco.co.jp/>

※最新の情報は HP 等でご確認ください。



スリーエム仙台市科学館

見て ふれて ためして 科学を体験しよう

施設概要

地下鉄南北線旭ヶ丘駅から徒歩5分、台原森林公園内に位置しています。特色の一つが“透析空間”であり、建築構造や設備等館全体を展示物として位置づけています。常設展は、生活系、理工系、自然史系の3つのテーマで構成され、周辺の恵まれた自然環境を生かし、自然と一体となった展示構成をとっています。



見学体験概要

1. 展示見学

「見て ふれて ためす」ことができる参加体験型の展示が多く、科学の原理法則、科学と生活との関わりなどについて楽しく学ぶことができます。

2. チャレンジラボ

誰でも楽しめる簡単な実験や工作を体験できます。(開館日の10:30~11:30, 13:00~14:00)

3. わくわく探検隊(探検シートの活用)

シートにあるクイズを解きながら館内を見学する学習プログラムです。シートは分野や難易度の違いによって5種類あり、事前の打ち合わせで種類と活用の仕方を決定します。

【インフォメーション】

見学体験可能時間

見学体験所要時間

予約

案内人・指導員

受入可能人員

交通案内

大型バス駐車

休業日

入館料
(特別展観覧料は別に定めます)

9:00~16:45 (最終入館 16:00)

見学: 約60分 体験: メニューによります

不要/団体の場合は要予約

職員・ボランティアが対応

見学: 制限なし(団体は要予約) 体験: 要相談

1. 地下鉄利用

地下鉄南北線「旭ヶ丘駅」東1番出口から徒歩約5分

2. 東北自動車道利用

東北自動車道「仙台宮城 I.C」より、仙台北環状線経由約30分

または東北自動車道「泉 I.C」より、国道4号・県道仙台泉線経由約30分

東北自動車道「泉 P.A スマート I.C」より、〃 約15分

可

月曜日(休日を除く)、

休日の翌日(土・日曜日、10月の第2月曜日の翌日、休日を除く)、

毎月第4木曜日(12月、休日を除く)、12/28~1/4

利用区分	一般	高校生	中学生・小学生
個人	550 円	320 円	210 円
団体	430 円	260 円	170 円

※ 団体(30人以上)利用の場合には、30人に1人の割合で無料になります。

※ 4階常設展示室リニューアル工事のため、2023年10月1日(日)から2024年4月末日(予定)の期間は、4階常設展示室を休止いたします。工事期間中、3階常設展示室はご覧いただけます。



【お問い合わせ先】

スリーエム仙台市科学館

〒981-0903

宮城県仙台市青葉区台原森林公園4番1号

電話 022-276-2201

FAX 022-276-2204

<http://www.kagakukan.sendai-c.ed.jp>



自然・科学

仙台市天文台

宇宙のスケールを体感できる天文総合博物館

施設概要

仙台市天文台は、市民・有志による寄付をきっかけに、1955年2月1日に“市民天文台”として開台し、2015年に開台60周年を迎えました。2008年には現在地（仙台市青葉区錦ケ丘）に移転。2023年6月にはプラネタリウムをリニューアルしました。「宇宙を身近に」を施設のミッションに、多彩なプラネタリウム番組の放映や、天体観望会などを行っています。市民のみならずと星空とのコラボレーションイベントなども多数開催し、様々な角度から宇宙を身近にする取り組みを行っています。

見学体験概要

見学団体に合わせた学習プログラム（プラネタリウム学習放映・展示見学・望遠鏡見学など）を実施しているほか、自主研修、職場体験などの受け入れも実施しています。お電話にてお問合せください（要予約）。

見学体験可能時間 見学体験所要時間

予約 案内人・指導員 受入可能人員 交通案内

大型バス駐車 休館日

観覧料

【インフォメーション】

9：00～17：00（土曜日は21：30まで※展示室は17：00まで）

展示室：50分程度／プラネタリウム：一回45分間

団体利用のみ電話にて要予約

なし（質問等は随時お声がけください）

観覧内容によって異なるため、お電話にてお問合せください。

【車】仙台駅前から約30分、または東北自動車道仙台宮城I.Cから国道48号線経由で約10分（無料駐車場あり／125台（うち身障者用5台））

【バス】○愛子観光バス 「錦ケ丘」行き

仙台駅西口ターミナル52番のりば→錦ケ丘七丁目北・天文台入口下車
→徒歩5分

○タケヤ交通 「秋保・川崎 仙台西部ライナー」

仙台駅西口ターミナル63番のりば→仙台市天文台→徒歩すぐ

※仙台市天文台の開館日のみの停車につき休館日は通過します

【電車＋バス】JR仙山線「愛子駅」下車、「錦ケ丘」行きバス乗り換え

愛子駅前停留所→錦ケ丘七丁目北・天文台入口下車→徒歩5分

※仙台市天文台そばには横断歩道がないので、バス停そばの横断歩道を渡ってからお越しく下さい

可（台数に制限あり／要予約）

水曜日・第3火曜日（祝休日の場合はその直後の平日）

年末年始（12/29～1/3）※学校長期休業中は開館

展示室：大人610円、高校生350円、小中学生250円

プラネタリウム：大人610円、高校生350円、小中学生250円

セット券（プラネタリウム1回＋展示室）：大人1000円、高校生610円、小中学生400円

※30名以上団体割引あり



©仙台市天文台

【お問い合わせ先】

仙台市天文台

〒989-3123 仙台市青葉区錦ケ丘 9-29-32

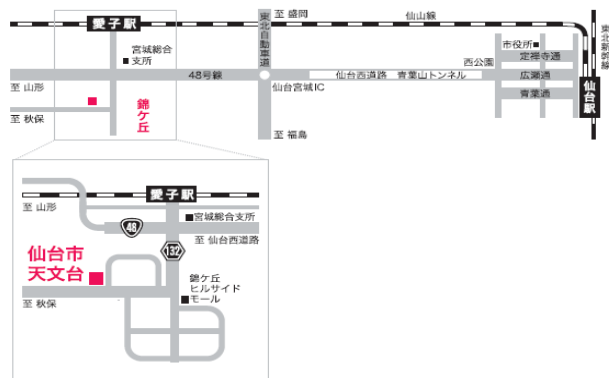
電話 022-391-1300

FAX 022-391-1301

<https://www.sendai-astro.jp/>

ウェブサイトからお問合せフォームあり

※最新の情報はHP等でご確認ください



自然・科学

仙台うみの杜水族館

いのちきらめく、うみの杜

施設概要

世界の 3 大漁場と言われている南三陸の海を表現した大水槽や、世界各国の様々な海を表現した展示を行い、海の壮大さと豊かさをご覧ください。

東北最大級のスタジアムでは、イルカ・アシカ・バードによる迫力のあるパフォーマンスをお楽しみいただけます。また、ペンギンやオタリアなどの海獣類とふれあう事ができるプログラムも充実しています。見るだけでなく、触れて、感じて、考えることができ素晴らしい体験を子どもたちに提供いたします。



見学体験概要

事前に予約をしていただいた場合、専用窓口にてスムーズな入館手続きが可能です。

人数等に制限はなく、学校の班別研修なども積極的な受入が可能です。

また、学校団体のみを対象としたバックヤードツアーも実施しており、水族館の裏側をスタッフが解説するなど、団体利用におけるメリットを存分に感じていただけます。



【インフォメーション】

見学体験可能時間

9:00～17:30 ※季節によって変動あり

見学体験所要時間

90～120 分

予約

必要（学校団体特別料金適用の場合）

案内人・指導員

なし

受入可能人員

規定なし

交通案内

JR 仙石線 中野栄駅より徒歩 15 分

※シャトルバスの運行あり（有料）

大型バス駐車

約 80 台

休業日

年中無休

料金

教職員	高校生	中学生	小学生	園児
1,900 円	1,300 円	1,200 円	900 円	500 円

※いずれも学校行事特別料金を適用した場合

【お問い合わせ先】

仙台うみの杜水族館 営業担当

〒983-0013

宮城県仙台市宮城野区中野 4-6

電話 022-355-2228

FAX 022-355-2220

E-mail eigyou@uminomori.jp

<http://www.uminomori.jp/umino/>

※最新の情報は HP 等でご確認ください



東北大学植物園

400 年の歴史をもつ自然の森を体感しよう！

施設概要

昭和 33 年に東北大学が研究と教育のために設立した自然植物園で、仙台城址背後の御裏林、通称青葉山と呼ばれている丘陵地に位置します。この森は、慶長 5 年（1600 年）に伊達政宗公が仙台城を築いて以来、今日までほとんど人手が加えられることがなかったため、仙台地方の丘陵地の自然林であるモミの美林が残されており、大都市近郊としては稀に見る自然豊かな植物園となっています。また、このモミ林を始めとして、園内の動植物には学術上貴重なものがたくさん存在することから、昭和 47 年に植物園としてはわが国で初めて天然記念物に指定されました。

※イノシシ等の獣害のため、限定開園中。



【インフォメーション】 ※通常開園時のご案内です

見学実施時間	9:00～17:00（最終入園 16:00）		
見学所要時間	園内一周約 90 分		
受入人数	制限なし		
予約	不要（団体の時は事前にご連絡をお願いします）		
案内人・指導員	園内の案内等は行っていない		
交通案内	地下鉄東西線「国際センター駅」西 1 出入口または「川内駅」南 2 出入口から徒歩約 12 分		
大型バス駐車	可（事前にご連絡をお願いします）		
休業日	毎週月曜日（月曜日が休日のときは開園し、翌日休園）臨時休園有 開園期間：春分の日～11/30		
入場料	区分	個人	団体（30 名以上）
	大人	230 円	170 円
	小人（小・中学生）	110 円	90 円

【お問い合わせ先】

東北大学植物園
〒980-0862
仙台市青葉区川内 12-2
電話 022-795-6760
FAX 022-795-6766

<https://web.tohoku.ac.jp/garden/>

※最新の情報は HP 等でご確認ください



東北大学理学部自然史標本館（総合学術博物館）

地球と生命の進化をたどる

施設概要

理学部自然史標本館には、地球の変遷を記録している岩石や鉱物、生命進化の証拠となる化石、地球環境の指標となる現生生物といった 60 万点を超える標本が、東北大学創立時から 100 年以上続く地球科学の研究教育活動に伴って蓄えられています。展示室では、そのうち 1,500 点余りを常設展示しています。

地球がどのような物質でできていてどう変化したか、生命がどのように進化してきたかを、実物標本を通じて知ることができます。

加えて、考古学や金属学、化学などの大学の他の様々な学問分野の貴重な資料も紹介しています。



↑ステゴサウルス全身骨格レプリカ

【インフォメーション】

見学時間
見学所要時間
案内人・指導員
交通案内

10:00～16:00

約 40 分

なし

地下鉄東西線「青葉山駅」で下車（仙台駅より乗車時間 9 分）、「青葉山駅」北 1 出口より徒歩 3 分

「るーぷる仙台」利用の際は「理学部自然史標本館前」下車、徒歩 1 分 2 台まで（無料駐車場あり）

大型バス駐車

休業日

毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は祝日明けの日）、お盆時期の数日*、年末・年始*、電気設備点検日（例年 8 月最終日曜日）*

*日にちが確定次第ホームページで告知

入場料

区分	大人	小・中学生
個人	150 円	80 円
団体（20 名以上）	120 円	60 円

※幼児・乳児は無料

【お問い合わせ先】

東北大学理学部自然史標本館
（総合学術博物館）

〒980-8578

仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3

電話 022-795-6767

FAX 022-795-6767

<http://www.museum.tohoku.ac.jp/>

※最新の情報は HP 等でご確認ください



カメイ美術館

蝶の不思議をワークシートで学習しよう

施設概要

仙台市に本社のある総合商社カメイ株式会社の創業90周年を記念して設立された、(公財)カメイ社会教育振興財団の事業の一環として、平成6年9月に開館。世界の蝶の標本約14,000頭、甲虫を常設展示しています。その他、東北で生まれ育まれてきた各地の伝統こけしや、日本の近・現代の具象画を中心とした絵画の企画展も開催しています。また、こけし絵付け体験や、蝶の不思議をワークシートで学習する企画もあります。



体験概要

蝶の展示室では、日本、東南アジア、南北アメリカ、アフリカなどの約4,000種14,000頭の蝶やカブトムシやクワガタ類の標本を展示しています。また、蝶の翅の鱗粉を観察できるコーナーもあります。

- ① 日本に生息する蝶にはどのような種類があるのだろうか。
- ② 蝶にはどのような習性があるのだろうか。
- ③ 日本以外の国に生息する蝶にはどのような種類がありどのような特徴があるのだろうか。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、体験受付は休止しています。

※詳細は随時HPをご確認ください。

見学体験実施時間
見学体験所要時間

予約

案内人・指導員

受入人員

交通案内

大型バス駐車

休業日

料金

11:00～16:00 (最終入館 15:30)

30分

案内人付の場合は事前に要予約

案内人付

10名

JR 仙台駅 西口から徒歩 10分

地下鉄五橋駅 北4出口から徒歩 3分

なし

毎週月曜日 (祝日は開館)、年末年始 (12/28～1/4)

無料

【インフォメーション】



【お問い合わせ先】

公益財団法人カメイ社会教育振興財団

カメイ美術館

〒980-0022

仙台市青葉区五橋 1-1-23

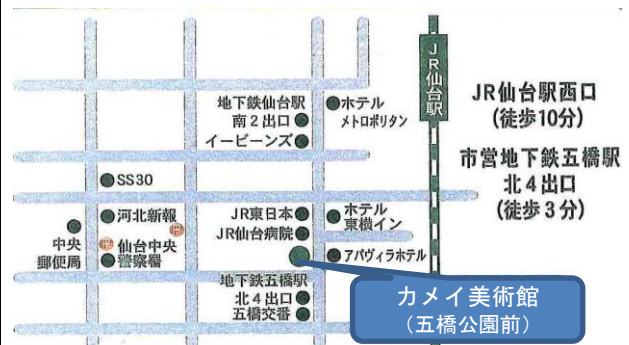
カメイ五橋ビル 7階

電話 022-264-6543

FAX 022-264-6544

<https://www.kameimuseum.or.jp>

※最新の情報はHP等でご確認ください



● 駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用下さい。

八木山動物公園フジサキの杜

動物園で学習プログラムに参加しよう

施設概要

八木山動物公園フジサキの杜は、仙台市内に位置する東北最大級の動物園です。地下鉄東西線の駅が隣接し、仙台駅からのアクセスが非常に便利です。

園内には学習の中心として「ふれあい館」があり、教育活動に力を入れています。

動物園は、こどもたちが「自分から」「楽しく」「もっともっと」学ぶ施設です。



見学体験概要

学習プログラムは、当園で働く飼育員や獣医師から話を聞いたり、体験したりするプログラムです。「体」「環境」「命」「仕事」の4つのテーマにそって、動物を観察しながら学べるプログラムや、環境について考えるプログラム、キャリア教育要素を含んだプログラムなどを用意しています。「飼育員のしごと」「動物マスターになろう!」「ホッキョクグマがくまった」など、様々なプログラムがありますので、ぜひ小中学生の校外学習や修学旅行などにご利用ください。



【インフォメーション】

見学可能時間

3/1～10/31 まで 9:00～16:45 (最終入園 16:00)
11/1～2/28 まで 9:00～16:00 (最終入園 15:00)

見学体験所要時間

各プログラム約 30 分

予約

要 (詳細は HP にて)

指導員

飼育員または獣医師

受入可能人員

申し込み時に相談 (1 プログラム当たり～30 名程度)

交通案内

・地下鉄東西線 「八木山動物公園駅」下車

可

大型バス駐車

・毎週水曜日 (ただし水曜日が祝日や振替休日にあたる場合は、翌木曜日休園)

休園日

・12/28～1/1、1/4

学習プログラムは無料ですが、別途入園料がかかります

料金

【お問い合わせ先】

八木山動物公園フジサキの杜

〒982-0801

宮城県仙台市太白区八木山本町 1-43

電話 022-229-0122 FAX 022-229-3159

E-mail ken010320@city.sendai.jp(学習プログラム関係)

ken010310@city.sendai.jp(施設利用)

<https://www.city.sendai.jp/zoo/index.html>

※最新の情報は HP 等でご確認ください



自然・化学

カントリーパーク新浜

人と自然が共存する海辺のふるさとをつくる

施設概要

当団体は、平成 30（2018）年に地元の農家と大学教員で発足し、宮城県仙台市宮城野区岡田の仙台市集団移転跡地 0.87ha に、ビオトープと冬水田んぼをつくりました。

自然観察会や環境にやさしい米作りを通して、新たな交流を生み出し、来訪者が海や砂浜、湿地、運河、海岸林、田んぼなどの多様な自然にふれあうことができる魅力的なゾーンを再生・創出することをめざしています。

これまで、新浜町内会や地域の大学・団体と連携して、大震災後に自ら蘇りつつある海辺の動植物や自然を観察・保全する活動、地域に残る米作り・暮らしの知恵を体験・探究する活動に取り組んできました。



施設の様子



体験の様子

見学概要

当団体メンバーが講師となり、「農薬不使用の田んぼが育む水辺の生き物たち」、「メダカと一緒に育てる農薬不使用の米作り」、「地域苗による“ふるさとの海岸林”復興」、「大津波で被災した砂浜、湿地、運河で蘇る生き物」などをテーマに、小学校高学年以上、おおむね 30 名程度までの団体を対象とした体験・探究学習の機会を提供します。受入には事前の調整が必要なため、希望の日時・人数・学年・体験内容等を明記の上、1 か月前まで（米作り体験については毎年年度初めの頃）に、当団体メールアドレスへご連絡ください。

【インフォメーション】

見学・体験可能時間

見学所要時間

予約

案内人・指導員

受入可能人員

交通案内

(バス)

大型バス駐車

休業日

入場料

要相談

申し込みプログラムによる（1~2 時間程度）

要（メールにて問い合わせの上、申し込み）

団体メンバーの大学教員・農家

申し込み時に相談（おおむね 30 名程度まで）

・公共交通機関をご利用の場合は、地下鉄東西線荒井駅から「岡田・新浜行き」仙台市営バス→「新浜」下車→徒歩 10 分

・お車でお越しの方は、東部復興道路（10 号線）をご利用ください。

徒歩 300m 付近に 1~2 台駐車可能

体験時間以外は利用不可

有償を原則としますが申込みのプログラムによるのでご相談ください。

【お問い合わせ先】

カントリーパーク新浜

事務局所在地；〒984-0003 宮城県仙台市若林区六丁の目北町 3-53

ビオトープの所在地；〒983-0003 宮城県仙台市宮城野区岡田字砂山 185

電話 090-4630-8344

メールアドレス countrypark.shinhama2021@gmail.com

<http://arhmctryprk.starfree.jp/>

※最新の情報は HP 等でご確認ください。

仙台市大倉ふるさとセンター

大倉地区の豊かな自然を体験しよう

施設概要

仙台市大倉ふるさとセンターは、大倉地区の豊かな自然と暮らしの歴史を活かした「自然体験」や「生活体験」を通じて、豊かな人間性をはぐくむ場を提供するために開設された仙台市の施設です。



見学概要

仙台市大倉ふるさとセンター内にある古民家は、平成6年まで仙台市青葉区上愛子に所在した約180年以上の築年数である石垣家住宅の母屋棟を移築・復元したものです。平成6年に建造物の仙台市指定文化財の指定を受け、所有者の石垣氏より寄贈されました。寄贈後、詳しい調査が行われ、解体された後に、大倉ふるさとセンターに移築し、保存していくことになりました。

施設は、旧大倉中学校の跡地に平成18年7月に開館し、センター活動として人材育成に役立つ、大倉の自然を生かした季節ごとのさまざまな体験学習活動を行っています。

【インフォメーション】

見学実施時間
見学所要時間

9:00～17:00
30分

予約
案内人・指導員
受入人員

不要（但し、団体で説明を要する場合は要予約）
あり
30名

交通案内

仙台市街より仙台西道路～国道48号経由で約19km、熊ヶ根交差点を定義方面へ右折し、約4km。大倉ダムの堰堤を通り過ぎ湖面を右に見たままさらに道なりに走行すると約3km。

大型バス駐車
休業日

専用の駐車場はありません。駐車できるスペースのみ。
4月～10月は第3水曜日、11月～3月は毎週水曜日、
年末年始（12/28～1/4）

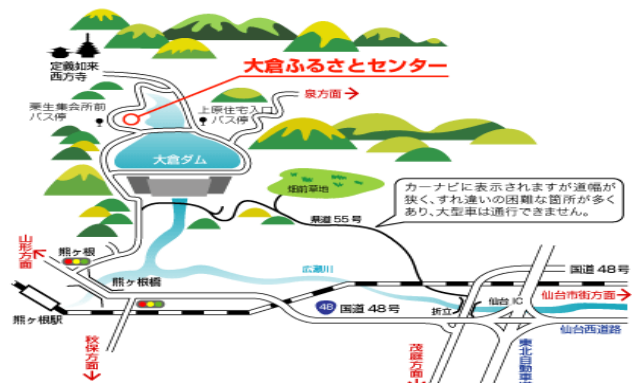
料金

無料

【お問い合わせ先】

仙台市大倉ふるさとセンター
〒989-3213
仙台市青葉区大倉字若林14-2
電話 022-391-2060
FAX 022-391-2064
<http://www.greenlife.or.jp/>

※最新の情報はHP等でご確認ください



社会・生活

仙台市市民活動サポートセンター

市民活動を支援する拠点

施設概要

仙台市市民活動サポートセンターは、様々な分野の市民活動団体やNPO法人、ボランティアなど非営利で公益的な活動をしている人たちやこれから活動しようと考えている方たちのための拠点施設です。多様な市民活動がさらに活発になるように支援を行うとともに、市民・企業・行政の協働によるまちづくりを推進していくことを目的としています。



見学概要

施設の見学をしながら仙台市市民活動サポートセンターの活用方法、市民活動や協働によるまちづくりの事例を知る事ができます。

- ① NPOとはどのような組織だろう。
- ② 協働によるまちづくりにはどんなものがあるのだろうか。

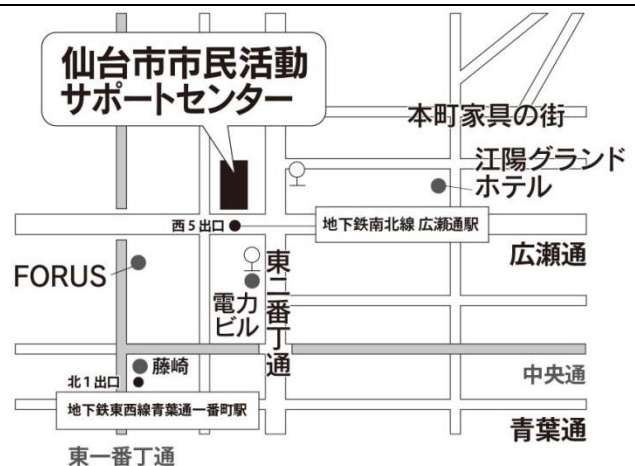
【インフォメーション】

見学時間	14:00～16:00
見学時間	30分
予約	要予約
案内人・指導員	付（要相談）
受入人員	10名程度
交通案内	地下鉄東西線「広瀬通駅」西5番出口から出てすぐ右手
大型バス駐車	不可
休館日	毎月第2、第4水曜日（施設・設備の点検等のため）、 年末年始（12/29～1/3）
料金	無料



【お問い合わせ先】

仙台市市民活動サポートセンター
〒980-0811
仙台市青葉区一番町 4-1-3
電話 022-212-3010
FAX 022-268-4042
<https://www.sapo-sen.jp>



社会・生活

仙台市水道記念館

水道のしくみや歴史について楽しみながら学べます

施設概要

豊かな自然に恵まれた歴史ある青下水源地のダム湖のほとりに建つ水道記念館。水道の歴史やしくみ、水環境を楽しみながら学べます。

館の周辺の散策路やハイキングコースでは、サクラや藤、紅葉など四季折々の自然を楽しむことができます。



青下水源地内に建つ水道記念館

見学体験概要

1 階の「水道の歴史」ゾーンでは、水道誕生と、水不足とたたかい続けた仙台水道の長い旅路を「人」「技術」にスポットをあてて展示しています。

2 階の「水道のしくみ」ゾーンでは、当たり前のように蛇口から出てくる水道水が、どんなしくみでつくられ、家庭まで届いているのかを紹介。あわせて災害対策についても展示しています。

周辺の青下水源地には、昭和初期につくられた青下ダムがあり、水が玉石の上を美しく流れ落ちる様子が見られるほか、緑に囲まれた散策路もあり、自然を身近に感じられます。

【インフォメーション】

見学体験実施時間

9:30～16:00

見学体験所要時間

40 分

受入人員

100 名程度

予約

不要／団体の場合は要予約

修学旅行など団体で利用される場合、日時、団体名、人員、見学時間、貸切バス利用の有無を事前に電話又は文書でお知らせ下さい

案内人・指導員

自由見学。要望により説明可

交通案内

市営バス仙台駅前発・定義行き「大手門入口」下車、徒歩 8 分、
J R 仙山線「熊ヶ根駅」下車徒歩 20 分、仙台宮城 I.C から車で 30 分
仙台駅から車で 40 分

大型バス駐車

可

休館日

月曜日（祝休日を除く）、祝休日の翌日（土・日曜、祝休日を除く）

入館料

12/1～3/31 は休館

無料

【お問い合わせ先】

仙台市水道記念館

〒989-3432

仙台市青葉区熊ヶ根字大原道地内

電話 022-393-2188

FAX 022-393-2188



仙台市歴史民俗資料館

ときのあゆみのたまたまばこ

施設概要

仙台市を中心に、明治時代以降の庶民生活資料を主な対象とする資料館です。また、建物が旧日本陸軍の兵舎建築であることから、戦争や軍隊に関する資料も展示しています。



見学体験概要

仙台のくらしを伝える道具や写真、地図などを展示しています。

建物は宮城県に現存する最も古い洋風木造建築で、宮城県有形文化財（建造物）に指定されています。

- ・「石うすひき体験」（学校見学のみ、要予約）
煎った大豆を石うすを使ってきな粉にします。
- ・「あんどんの灯り体験」（学校見学のみ、要予約）
菜種油を使った灯りの明るさを体験します。
- ・「昔遊び体験（チャカポコ、ビー玉パチンコ等）」
2階体験学習室で遊べます。

開館時間 見学体験所要時間

受入人数 予約 案内人・指導員 交通案内

大型バス駐車 休業日

入館料

【インフォメーション】

9:00～16:45（最終入館 16:15）

展示室の見学：約 60 分

体験所要時間：各体験 1 回（20 人程度）20 分

100 名程度まで（100 名以上の場合はご相談下さい）

事前相談歓迎、体験は準備が必要なため要予約

職員が対応

・徒歩：JR 仙台駅東口から約 20 分

・電車：JR 仙石線「榴ヶ岡駅」下車、徒歩 7 分

・バス：仙台駅西口、青葉通三井住友信託銀行前 市営バス 50 番、51 番のりばから乗車「原町 1 丁目」下車、徒歩約 7 分

事前にご連絡下さい

月曜日（休日は開館）、休日の翌日（土・日は開館）、第 4 木曜日（12 月・休日は開館）、年末年始、くん蒸にともなう臨時休館

区分	通常料金	団体料金
一般・大学生	240 円	190 円
高校生	180 円	140 円
小・中学生	120 円	90 円

※30 名以上団体料金・引率者 1 名無料。

【お問い合わせ先】

仙台市歴史民俗資料館

〒983-0842

仙台市宮城野区五輪 1-3-7（榴岡公園内）

電話 022-295-3956

FAX 022-257-6401

E-mail folkmuse@deluxe.ocn.ne.jp

<http://www.sendai-c.ed.jp/~bunkazai/~rekimin/>

※最新の情報は HP 等でご確認ください



メガネの相沢 メガネの歴史館

身近なメガネの歴史を通じ、人と社会の発達の歴史を学ぶ

施設概要

宮城、岩手、山形、福島各県に 32 店舗を展開するメガネの相沢が、120 年を超える歴史の中で収集してきた江戸時代から明治・大正・昭和初期の貴重なメガネを始め、レンズを用いた様々な機器、ケースや装飾具、絵画などメガネにまつわる歴史資料を一同に集めた東北では唯一の本格的なメガネの歴史資料館です。



見学概要

メガネやレンズの起源から、日本への伝来、日本で独自に発達したメガネの歴史、そしてサングラスやレンズを用いた様々な機器、視力測定装置の歴史などをそれぞれのコーナーで実物を見ながら学習することができます。



【インフォメーション】

見学実施時間
見学所要時間
受入人数
予約
案内人・指導員

10:00～19:00（最終入館 18:00）
30～40 分
要相談
要予約
あり

交通案内
大型バス駐車
休業日

地下鉄南北線「勾当台公園駅」下車、徒歩 5 分
なし
毎週木曜日 *但し木曜日が祝日に当たる場合は営業いたします。
1 月 1 日

入場料

無料

【お問い合わせ先】

メガネの相沢 メガネの歴史館
(メガネの相沢 一番町店 2 階)

〒980-0811

仙台市青葉区一番町 4-4-34

電話 022-223-9439

<https://www.meganenoaizawa.co.jp/>



仙台高等裁判所・仙台地方裁判所・仙台家庭裁判所

裁判をより身近に感じる

施設概要

裁判所の仕事は、個人間などの法律的な紛争を解決したり、罪を犯した疑いがある人が有罪か無罪かを判断したりすることにより、国民の権利を守り、国民生活の平穏と安全を保つことです。実際の法廷見学を通じて、裁判所や裁判手続の仕組みなどを分かりやすくご説明します。

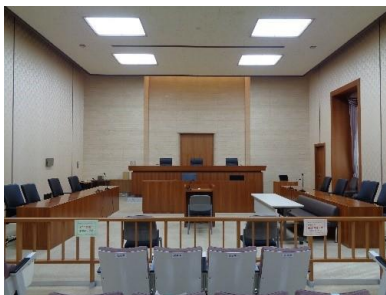
見学体験概要

- 1 仙台高等裁判所（小中学生）
DVD 視聴、法廷見学・説明、法壇から判決読上げ体験など。
- 2 仙台地方裁判所（高校生以上）
裁判員制度説明、刑事裁判傍聴、法廷見学・説明、史料展示室見学
※希望日によっては、裁判の傍聴ができない場合があります。
- 3 仙台家庭裁判所
①少年事件コース ②家事調停コース ③家裁調査官コース ④家裁全般に関するコース
※DVD 視聴、法廷等見学・説明

【インフォメーション】

開館時間
休館日
見学体験所要時間
予約
案内人・指導員
受入可能人員
交通案内

午前の部：10:00～ 午後の部：13:30～
土曜、日曜、祝日
60 分～90 分程度（事前にお問合せください。）
要（仙台高裁・仙台家裁：3 週間前まで 仙台地裁：2 週間前まで）
裁判所職員
25 人～40 人程度（事前にお問合せください。）
「高等裁判所前」バス停から徒歩約 2 分、JR 仙台駅西口から南町通りを直進して徒歩約 20 分、JR あおば通駅から徒歩約 15 分、仙台市営地下鉄東西線青葉通一番町駅又は大町西公園駅から徒歩約 10 分
可（要予約）
無料



【お問い合わせ先】

仙台高裁総務課広報係／仙台地裁総務課広報係／仙台家裁総務課庶務係
〒980-8638 仙台市青葉区片平 1-6-1
（電話）仙台高裁総務課広報係：022-745-6194／仙台地裁総務課広報係：022-222-6115
／仙台家裁総務課庶務係：022-745-6203
（HP）仙台高等裁判所：<https://www.courts.go.jp/sendai-h/index.html>
仙台地方裁判所・仙台家庭裁判所：<https://www.courts.go.jp/sendai/index.html>

※最新の情報は HP 等でご確認ください。

産業・職場

鐘崎 総本店 笹かま館

かまぼこはもちろん宮城の食や文化も満喫できる体験型施設

施設概要

「ここでしか見られない」「ここでしか体験できない」「ここでしか味わえない」をテーマに、かまぼこはもちろん宮城の食や文化も満喫できる体験型施設です。(入館無料)

笹かま手作り体験教室(要予約)など笹かまぼこについておいしく楽しく学ぶことができる他、一年中仙台七夕飾りをご覧いただける「七夕ミュージアム」など楽しい施設もたくさんご用意しております



見学概要

宮城県のお土産で代表される笹かまや東北三大祭りのひとつ、仙台七夕の歴史と文化をまるごと体験することができます。笹かま手作り体験教室では、スタッフの指導により笹かまぼこの成形から焼き上げまでの体験ができます。七夕飾り手づくり体験では、仙台七夕まつりの文化や歴史などの説明を聞きながら、和紙の折り紙を利用して七夕飾りの製作ができます。



【インフォメーション】

見学体験実施時間
見学体験所要時間
／受入人数

9:30～18:00 (季節により変動)

工場見学 (現在休止中) 25 分／15 名

笹かま手作り体験 45 分／36 名

揚げかま手作り体験 45 分／8 名

七夕飾り手づくり体験 60 分／4 名

要予約

あり

予約
案内人・指導員
交通案内

JR 仙台駅から車で約 20 から 30 分
仙台東部道路 仙台東 I.C より車で約 5 分
可

大型バス駐車

休業日

料金

不定休

入館料・工場見学 (現在休止中) 無料

笹かま手作り体験 お一人様：1,000 円

揚げかま手作り体験 お一人様：1,000 円

七夕飾り手づくり体験 お一人様：1,500 円



【お問い合わせ先】

鐘崎 総本店 笹かま館

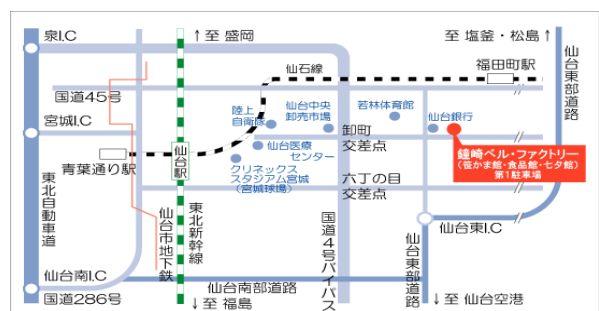
〒984-0001 仙台市若林区鶴代町 6-65

電話 022-238-7170

FAX 022-238-7341

https://www.kanezaki.co.jp/shop/belle_factory/

※最新の情報は HP 等でご確認ください



キリンビール仙台工場 キリン 一番搾り

ビールができるまでの工程を学ぼう

施設概要

キリンビール仙台工場は、1923（大正 12）年から、ここ仙台の地でビール造りを行っている、歴史ある工場です。工場見学で、ビールができるまでの工程を楽しく学んでみませんか。



見学体験概要

醸造工場でビールができるまでの工程を見学後、パッケージング工場で造ったビールを缶に詰める工程を見学します。ビールのもとになる液体「麦汁」の試飲や麦芽の試食、ビールの貯蔵中の温度を体験するなど、五感を使っておいしさの秘密を体感していただきます。

- ① キリン 一番搾り生ビールはどのように造るのだろうか？
- ② キリン 一番搾り生ビールのおいしさの秘密って？

【インフォメーション】

見学体験実施時間

10:00～14:50

見学所要時間

80 分

受入人数

1 ツアー 20 名様まで

予約

要予約（電話のみで受付します。）

案内人・指導員

あり（工場見学ガイドが工場内をご案内します。）

交通案内

JR 仙石線「多賀城駅」から無料シャトルバス運行

※詳細についてはお問合せください（先着順）

車の場合、仙台駅から 40 分、仙台東部道路仙台港 I.C から 5 分、三陸自動車道仙台港北 I.C から 10 分

大型バス駐車

可（7 台）

休業日

毎週月曜日（祝日と重なる場合は営業、翌平日を休業）、年末年始、設備点検日など

料金

20 歳以上 1 名 500 円（19 歳以下は無料）

【お問い合わせ先】

キリンビール仙台工場

〒983-0001

仙台市宮城野区港 2-2-1

工場見学受付電話 022-254-2992

（受付時間：9:30～16:20）

FAX 022-259-4457

www.kirinfactory.jp/sendai/

※最新の情報は HP 等でご確認ください
い



JR フルーツパーク仙台あらはま

1 年を通して果実の摘み取りができる体験型観光農園

施設概要

2021 年 3 月にオープンした体験型観光農園、11 ha の地に 8 品目 150 品種以上の果実を栽培しています。

直売所「あらはまマルシェ」では当園の果物や周辺の農業事業者の生産する野菜などを販売。併設しているカフェレストラン「Les Pommes(レ・ポム)」では農園と地域の旬の食材を使用した料理やデザートが楽しめます。



体験概要

2022 年以降、1 年を通して、いちご、ブルーベリー、ブドウ、リンゴ、ナシ、イチジク、キウイ、スグリといった果実を旬の時期に摘み取り体験ができます。



【インフォメーション】

見学体験可能時間

10:00～17:00

見学体験所要時間

摘み取り体験は 30 分程度

予約

不要(摘み取り体験等は予約優先、団体の場合は要相談)

案内人・指導員

希望により施設案内や講義を行います。

受入可能人員

内容により人数制限有り。ご相談ください。

交通案内

仙台東部道路 仙台東 I.C より車で約 10 分

地下鉄東西線「荒井駅」より仙台市営バス震災遺構荒浜小学校行き「震災遺構荒浜小学校前」下車徒歩 5 分

大型バス駐車

あり (4 台)

休業日

火曜日 (火曜日が祝日の場合は翌平日)

料金

入場無料 摘み取り体験等は有料

【お問い合わせ先】

仙台ターミナルビル株式会社 観光農業部

〒984-0034

仙台市若林区荒浜新 2 丁目 17-5

電話 022-390-0770

FAX022-390-0850

<https://stbl-fruit-farm.jp/>



クラフト空間夢陶房・工芸ギャラリーZEN

地元の陶芸作家の作品に出会えるよ

施設概要

東北最大のショールームには、全国の和陶器が一同に展示されており、見ごたえがあります。

夢陶房・工芸ギャラリーZENでは、地元ふるさとの陶芸や工芸作品、若手クラフトマンの作品を多く取り揃え、和雑貨や和小物も充実しています。



見学概要

ショールームと工芸ギャラリーZENを見学します。

宮城県と隣県の陶芸作品をご覧いただけます。



【インフォメーション】

見学実施時間
見学所要時間

10:00～16:30
30～60分

受入人数
案内人・指導員

約15名
あり

交通案内

地下鉄東西線「卸町駅」下車、徒歩10分

大型バス駐車

なし

休業日
入場料

日曜・祝日
無料



【お問い合わせ先】

クラフト空間夢陶房・工芸ギャラリーZEN
〒984-0015
仙台市若林区卸町二丁目15-7
(株)瀬戸屋 3F
電話 022-232-0135
FAX 022-239-5245
<http://www.setoya.co.jp/>

※最新の情報はHP等でご確認ください



産業・職場

株式会社こばやし

お弁当とお惣菜の製造工程見学・お弁当盛付体験をしよう

施設概要

令和2年に創業100周年を迎え、宮城野区小田原に本社・工場の現社屋落成。東京オリンピック、ワールドカップ仙台大会、国民体育大会（宮城国体）等、大きなイベントで指定業者として納入してきました。東日本大震災では食事の提供に活躍しました。

これからも安全で安心して召し上がっていただける環境に優しいお弁当作りを進めてまいります。

工場内は日産3万食を製造できる設備があり、安全と衛生を守り、365日稼働。工場全体がバリアフリー対応となっています。



こばやし本社・工場（仙台市宮城野区）

見学体験概要

実際に従業員と同じ目線で、調理から盛付までの流れを見学し、幕の内弁当の盛付体験ができます。（白衣着用）盛付体験後は、自分の作ったお弁当を試食して頂けます。

- ① 駅弁はどの様に作られているのだろうか。
- ② 弁当製造で安全・衛生面の対策はどのようにしているのだろうか。
- ③ 工場見学にさきだち、概要をパワーポイントにて分かりやすく説明いたします。

見学体験実施時間

10:00～12:00

見学体験所要時間

90分位

受入人数

3～8名ぐらい（1日1組限定）

予約

要予約

指導員

あり

交通案内

市営バス「第4合同庁舎前」下車、徒歩7分

大型バス駐車

なし

見学・体験可能日

4月～9月の月曜日から木曜日

入場料

無料

体験料金

無料

【インフォメーション】



【お問い合わせ先】

株式会社こばやし

〒983-0803

仙台市宮城野区小田原 3-2-3

電話 022-293-1661

FAX 022-293-1664

<http://www.kobayashibento.com/>



笹氣出版印刷株式会社 笹っぱ活字館

匠の軌跡・息づく伝統 活づく活字

施設概要

「本作りの笹氣」の心臓部分＜文字組版＞の変遷がたどれる様な展示を中心に、その伝統を継承することを目的に 2001 年 2 月 1 日開館しました。大正 10 年の創業以来、活版印刷の品質・美しさにこだわり続け、「金属活字」を自社鋳造制作し活字の品質を保って美しい組版を提供してまいりました。当時を偲ばせる活字に関する機械が今も健在に残っています。先人のこだわりが結集した“笹っぱ活字館”には匠の業が息づいています。『笹っぱ活字館の web サイトがオープンしました。』

<https://www.katsujikan.jp/>』

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、見学はご予約のみの受付とさせていただきます。



見学体験概要

通常展示は活版印刷時代の活字製作・文選・植字など＜文字組版＞に活躍した、欧文全自動鋳植機ランストンモノタイプ、ベントン彫刻機、単母型鋳造機などをはじめ、文献のみに残る幻の活字【陶活字】製作に挑戦した成果なども見どころの一つです。そのほか、弊社が、チベット文字の活字を作り印刷した「西藏撰述仏典目録」や完成までに 20 年を費やした「澁澤栄一傳記資料」などの貴重書の数々もお楽しみいただけます。



【インフォメーション】

見学体験実施時間

9:00～16:00

予約

説明をご希望の場合または、5 名様以上でご来館の場合は 1 週間前までにご予約願います。

指導員 交通案内

あり

地下鉄東西線「六丁の目駅」下車北 1 出口（六丁の目中町、六丁の目西町方面）より徒歩 5 分／ 仙台東部道路・東仙台 I.C から車で 5 分

休業日 入場料

土・日曜日、祝日。年末年始（12/29～1/3）

無料

【お問い合わせ先】

笹氣出版印刷株式会社 笹っぱ活字館

〒984-0011

仙台市若林区六丁の目西町 8-45

電話 022-288-5555

FAX 022-288-5551

<https://www.sasappa.co.jp/>



産業・職場

産業見本市会館「サンフェスタ」

様々なシーンにあった空間をご提供します

施設概要

多目的、総合的に機能を発揮する東北有数の総合展示場。各種展示商談会や見本市、レセプション、パーティー、イベント等様々な分野で利用できます。

1階には分割可能な1,950㎡（600坪）の展示場があり、天井高7.2m、床は5t/㎡までの重量に耐え、大型車も出入可能な構造となっています。3・4階にも分割可能な展示場があります。（3階：624㎡、4階：630㎡）約500台収容の付帯駐車場や2階にはレストランもあります。

見学概要

「サンフェスタ」の施設で開催される催事を支えるモノや人、設備等について学習しましょう。

各階展示場の施設概要について説明を受けながら館内を見学します。

①どんな展示会やイベントが開催されて、どんな人が働いているの？

②展示会等を支えるためにどんな工夫や苦勞があるの？

見学実施時間

見学所要時間

受入人数

予約

案内人

交通案内

大型バス駐車

休業日

入場料

【インフォメーション】

10:00～16:00（12:00～13:00は除く）

※催事の内容や予約状況により、見学の受け入れができない場合があります
40分程度

10～20名

要予約・事前相談 ※見学希望日の2週間前までにお問い合わせください
（予約受付時間 10:00～17:00）

※お電話でお問い合わせの上、希望日時・団体名・人員・交通手段等について文書でお知らせください

職員が対応

地下鉄東西線「卸町駅」（仙台駅から約9分）北1出入口から徒歩約7分、市営バス仙台駅前50番のりばから小鶴新田行きまたは東仙台営業所行き「卸町会館前」下車徒歩1分

仙台駅から車で15分／仙台東部道路 仙台東ICから車で7分
可（台数は応相談）

土日・祝日、盆期間、年末年始

無料

【お問い合わせ先】

産業見本市会館・サンフェスタ

〒984-0015

仙台市若林区卸町2-15-2

TEL 022-235-1100

FAX 022-235-1109

<http://www.sunfesta.or.jp>

※この施設は協同組合仙台卸商センターが運営しています。



産業・職場

仙台朝市商店街振興組合

朝市で食品販売体験をしてみよう

施設概要

昭和 23 年頃、空襲で焼け野原となった現在地に軒を並べるようになって出来た「青空市場」が仙台朝市の始まりです。通りの界限には 70 店舗ほどの店が並び、旬の魚や新鮮な野菜、果物などが所狭しと並べられています。今では市民の皆様「仙台の台所」として、また全国から訪れる多くの方々に「仙台の名所」のひとつとして親しんでいただける場所となっています。



体験概要

朝市内の店頭で、商品陳列やお客様との対面販売など商業の基本が現場で体験出来ます。

- ① 仙台朝市には、どのような特徴があるのだろうか。
- ② 物を販売する上でどんな工夫や苦労があるのだろうか。
- ③ お客様をひきつけるにはどんなことが必要なのだろうか。
- ④ 対面販売を通して商品だけでなく、情報交換がいかに大切かを体験出来ます。会話を大切に！

【インフォメーション】

体験実施時間

10:00～12:00（4月～11月上旬）

※時間帯については要相談

体験所要時間

90～120分

予約

2週間前まで FAX にて要予約

案内人・指導員

各店舗担当者が指導にあたります

受入人員

20名位まで（要相談）

交通案内

JR 仙台駅から徒歩 3 分

大型バス駐車

なし

休業日

日・祝日、お盆、新年

料金

無料

※但し、10名以上の場合は別途会議室を借用しますので、使用料 5,000 円がかかります（要相談）

【お問い合わせ先】

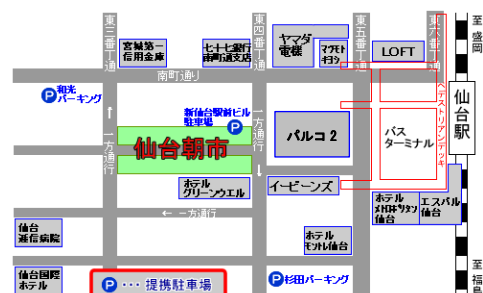
仙台朝市商店街振興組合

〒980-0021

仙台市青葉区中央 3-8-5

新仙台駅前ビル 3 階

電話・FAX 022-262-7173



産業・職場

日本銀行仙台支店

お金について学ぼう

施設概要

日本銀行仙台支店は、昭和16年10月、全国で18番目の支店として開設されました。日本銀行の使命は、物価と金融システムの安定を図ることです。仙台支店には、営業課、発券課、業務課、文書課の4つの課があり、わが国唯一の「発券銀行」として、また、「銀行の銀行」、「政府の銀行」として、様々な業務を取り扱っています。



見学概要

日本銀行の役割などを平易に解説したDVD鑑賞の後、窓口での執務状況見学や銀行券の偽造防止技術の確認、模擬1億円の重さ体験などができます（以上で所要時間は約70分程度です）。

このほか、「金融経済のしくみや働き」、「お金の話」など、希望に応じて講話を行うことも可能です。

【インフォメーション】

見学日時

月曜日～金曜日

見学所要時間

見学時間は10:00～または13:00～
70分程度

予約

案内人・指導員

対象者

交通案内

大型バス駐車

休業日

料金

見学希望日の2週間前までに要予約（予約受付は見学希望日の2ヶ月前から）
案内人付

原則、中学生以上（小学校高学年は別途相談）、5名～20名程度

地下鉄東西線「青葉通一番町駅」北1出口から徒歩約3分

地下鉄南北線「広瀬通駅」西3出口から徒歩約10分

電力ビル、青葉通り一番町バス停より徒歩約5分

原則不可

祝日および12/29～1/4

無料

【お問い合わせ先】

日本銀行仙台支店 営業課

〒980-0811

仙台市青葉区一番町3-4-8

電話 022-214-3157

FAX 022-721-8858

<https://www3.boj.or.jp/sendai/>

※最新の情報はHP等でご確認ください



産業・職場

仙台三越

東北各県のお客様に親愛される総合百貨店

施設概要

仙台三越は、1933 年（昭和 8 年）にオープンし、現在の売場面積は、約 32,000 m²あります。1 階のフロアには、人気のティファニーブティック、シャネルブティック、コーチショップがあります。地下 1 階食品フロアは、全国の美味しいお菓子や店内で作りたてのお惣菜が楽しめる東北一の「三越フードガーデン」を賑やかに展開しています。

エネルギー使用量・CO₂削減を目的とした LED 照明の導入や、簡易包装の推進等で省資源への取り組みも行っています。

見学概要

店内見学は、小中学生を対象としており、店舗の防災センター、電気機械室等の後方設備が見学できます。

百貨店で、お客様に快適にお過ごしいただく為の工夫についてお話しします。

【インフォメーション】

見学実施時間
見学所要時間

11:30～12:30（応相談）
30～60 分

予約
案内人・指導員
受入人員

1 カ月前までに要予約
案内人付
2～6 名
（小・中学生対象）

交通案内

地下鉄南北線「勾当台公園」より
徒歩 1 分

大型バス駐車

不可

休業日
料金

1/1
無料



【お問い合わせ先】

株式会社仙台三越

〒980-8543

仙台市青葉区一番町 4-8-15

電話 022-225-7111（代表）

FAX 022-221-3241

<https://www.mitsukoshi.mistore.jp/sendai.html>



産業・職場

みやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」

人・モノ・情報が出会う見本市・展示会場

施設概要

みやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」は情報・技術・文化等の交流を促進し、県内産業の振興及び県民の福祉の向上に寄与することを目的に宮城県が設置した展示施設です。

当施設は3分割利用可能な東北最大の7,500㎡の広さのホールを持つ展示棟、5,000㎡の屋外展示場、大ホールと会議室を備えた会議棟、隣接する西館（アクセル1・2階）で構成され、産業や文化・スポーツに関するさまざまなイベントが開催されます。

見学概要

「夢メッセみやぎ」の施設で開催されるイベントを支えるモノ・人について学習しましょう。

- ①どんなイベントが開催されているの？
- ②イベントを支えるためにどんな工夫や苦労があるの？

【インフォメーション】

見学実施時間

9:00～15:00

見学所要時間

30分程度

受入人数

ご相談ください

予約

事前相談

案内人・指導員

あり

交通案内

最寄駅 JR 仙石線「中野栄駅」徒歩15分
仙台港北 I.C、仙台港 I.C から車で5分

大型バス駐車

可

休業日

12/29～1/3

入場料

無料

※催事を開催中の場合は入場料がかかる場合があります。
詳細はホームページ等をご確認ください。



【お問い合わせ先】

(一財) みやぎ産業交流センター
〒983-0001
仙台市宮城野区港 3-1-7
電話 022-254-7111
FAX 022-254-7110
<https://www.yumemesse.or.jp/>



産業・職場

ア オ バ
AO BA

エデュケーション フォー ライフ トゥギャザー
EDUCATION FOR LIFE Together (EFLT) スペース

銅のエンボッシング体験

施設概要

社会の現場や地球や自然の働きとの関係性の中で、互いに存在することをより豊かに引き出し合うことを目的とした学びのスペースです。

体験概要

はじめにテストピースを使用し、道具や銅の感触を一通り体験した後に、ご自身で考えたオリジナルの作品を製作していただきます。

体験実施時間 見学体験所要時間

受入人数

予約

指導員

交通案内

大型バス駐車

休業日

体験料金

事前準備

【インフォメーション】

お問い合わせください

90 分

*受入人数の兼ね合いにより、事前にご連絡ください

一体験：4 名～6 名まで

要予約

1 名

地下鉄東西線「青葉通り一番町駅」から徒歩 7 分

仙台駅から徒歩約 11 分

不可

不定休

1,500 円

*事前に縦 20cm×横 30cm の枠の中に入る図案をご準備ください。



【お問い合わせ先】

株式会社 ア オ バ
AO BA

施設名 EFLT スペース

〒980-0811

住所 仙台市青葉区一番町 1-12-40 タゼン 2 階

電話：022-225-6858／090-6259-1064（田中）

E-mail info@aoba.be

<https://www.aoba.be/>



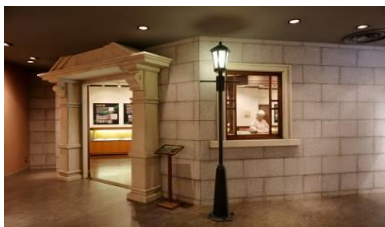
※最新の情報は HP 等でご確認ください

七十七銀行金融資料館

「お金」の歴史や役割、「七十七銀行」についてたのしく学ぼう！

施設概要

「七十七銀行金融資料館」は七十七銀行の創業 120 周年を記念して開設されました。当館では、お金の歴史と役割や銀行の誕生と発展、宮城県や日本の産業・経済などについて、それぞれのゾーンごとに分かりやすくご紹介しています。



見学体験概要

「七十七銀行金融資料館」は 5 つのゾーンに分かれております。入ってすぐの①「大金庫室」はドラマなどでもよく取り上げられる銀行の大金庫室を再現。②「お金の世界」では昔の大判・小判や、七十七銀行が国立銀行だった時代に発行していた紙幣など貴重な資料を展示。③「七十七銀行ことはじめ物語」では七十七銀行誕生の経緯や、新しい一万円札の肖像に決定した「渋沢栄一」との創業期における深い係わりについても紹介しています。④「地域の発展と七十七銀行のあゆみ」では、七十七銀行と地域のあゆみをデジタル年表やプロジェクションマッピングにて紹介。⑤「銀行とお金の役割」は、小中学生のお客さま向けの金融教育エリアです。物々交換ゲームを制限時間内にクリアすると賞品がもらえるなど、お金や銀行の役割について楽しく学べます。

【インフォメーション】

見学体験実施時間
見学体験所要時間
予約

10:00～15:00（銀行営業日）※最終受付時間 14:30
40 分程度
要

案内人・指導員
受入可能人員
交通案内

なし
10 名まで
市営地下鉄南北線「仙台駅」出口北 2 から徒歩 4 分
J R 仙石線「あおば通駅」から徒歩 2 分
J R 仙台駅から徒歩 5 分

大型バス駐車
休業日
料金

なし
土曜、日曜、祝日
無料

【お問い合わせ先】

七十七銀行 営業企画課
〒980-0021
仙台市青葉区中央 3-3-20
電話 022-211-9711

<https://www.77bank.co.jp/museum/>

※最新の情報は HP 等でご確認ください

七十七銀行本店4階
金融資料館

- 市営地下鉄南北線仙台駅（出口北2）から徒歩4分
- JR仙石線あおば通駅から徒歩2分
- JR仙台駅から徒歩5分



産業・職場

FabLab SENDAI - FLAT

FabLab SENDAI - FLATは、誰でも自由に思いつきをかたちにする、まちの工作室です。

施設・団体概要

FabLab SENDAI-FLATは、かなづちやドライバーなどのハンドツールはもちろん、レーザーカッターや3Dプリンタを始めとするデジタル工作マシンも備えており、全て誰でも自由に使用することができます。(※要講習受講)
また、ものづくりスキルを上げるための勉強会や、初心者でもものづくりを楽しめる様々なワークショップも不定期で開催しています。



見学体験概要

デジタル工作マシンを使ったものづくり体験等を行なっております。(内容はご希望に応じて変更可能です。必ず事前にご相談ください。)

実施例①見学「デジタル工作マシンを知ろう」

3Dプリンタやレーザーカッターなどのデモンストレーションを通して、デジタル工作マシンでできることを学ぶことができます。

実施例②体験「乾漆ブローチづくり」

漆(うるし)と布でできたパーツを使って、モザイクブローチを作ります。ものづくりを通して、漆やデジタル工作マシンの特徴を学ぶことができます。

実施例③体験「レーザーカッターでオリジナルグッズづくり」

紙に描いたイラストを、アクリル板にレーザーカッターで加工し、キーホルダーまたはスタンプを作ります。

【インフォメーション】

見学体験可能時間
見学体験所要時間

9:00～18:00

実施例①30分～1時間／②20分～1時間／③1時間～1時間半

(体験にかかる時間は、参加人数によって変動します。)

必須(2週間前までに電話またはメールにてご予約ください。)

予約

受入可能人員

1～12名程度

交通案内

地下鉄東西線「青葉通一番町駅」より徒歩5分／JR仙台駅より徒歩10分

大型バス駐車

なし

休業日

不定休

入館料

実施例①1名500円／②ブローチ1個につき500～700円／③1名1,500円



(左:実施例②「乾漆ブローチづくり」／右:実施例③「レーザーカッターでオリジナルグッズづくり」)

【お問い合わせ先】

FabLab SENDAI - FLAT(合同会社FLAT)

〒980-0811

宮城県仙台市青葉区一番町2-2-8 シエロ南町
通4F-1

電話 022-797-5384

E-mail info@flatjp.com

<https://fablabsendai-flat.com/>



産業・職場

専門学校 赤門自動車整備大学校

自動車整備士の仕事を体験しよう

学校概要

仙台市川内に位置する歴史と伝統のある専門学校。自動車整備士資格の取得と、就職をめざす学校です。創立 65 年以上、これまで卒業生を 1 万人以上全国に自動車整備士として送り出している実績があります。



見学体験概要

普段学生が使用している実習場の見学や、本物の工具や設備を使い自動車整備士の仕事を体験することができます。



【インフォメーション】

見学体験可能時間

見学体験所要時間

予約

案内人・指導員

受入可能人員

交通案内

大型バス駐車

休業日

入館料

要相談

要相談

事前の予約が必要

赤門の教職員が担当します

1 回につき 15 名程度

地下鉄東西線「国際センター駅」下車

北 1 出口から徒歩約 10 分

可能 ※要相談

土日祝日

無料

【お問い合わせ先】

専門学校 赤門自動車整備大学校

〒 980-0852

宮城県仙台市青葉区川内川前丁 61

電話 022-223-6031

FAX 022-223-5129

E-mail gakusei@akamon.org

<http://www.akamon.org/>



産業・職場

一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会 中学校教諭の皆さまへ 「中学校のための職業体験講座」のご案内

施設概要

一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会は県内の専修学校 53 校、各種学校 3 校の 63 校が加盟する団体です。

若年層のキャリア教育の一環として中学生の早い段階から将来の職業観や勤労観を養ってもらうため、会員の専修学校がそれぞれの特色を生かした職業体験講座（合計 48 講座を無料で開設するものです。校外研修、修学旅行や宿泊研修の機会にもぜひご活用ください。

見学概要

- ビジネス・経理・法務・公務員分野 3 講座
 - 医療・福祉分野 9 講座
 - ホテル・ブライダル・観光・語学分野 4 講座
 - 児童教育・スポーツ分野 7 講座
 - コンピュータ・ゲーム分野 4 講座
 - 建築土木分野 1 講座
 - 自動車・航空機分野 2 講座
 - 調理・製菓分野 2 講座
 - 理容・美容分野 5 講座
 - デザイン・マンガ分野 5 講座
 - 音楽・芸能分野 3 講座
 - 動物・植物分野 3 講座
- 上記を実施校ごとに分かれて開講しています。

【インフォメーション】

見学・体験可能時間
見学所要時間
予約
案内人・指導員
受入可能人員
交通案内
大型バス駐車
休業日
入場料

おおよそ 90 分～120 分程度
おおよそ 90 分～120 分程度
1 カ月半前までにメールにて申込が必要
講座ごと最低 1 名の講師・教員を配置
講座ごと 10 名～20 名（中学生に限ります）
実施学校は仙台駅から徒歩 10 分圏内がほとんどです
学校によります
休業日 土日祝日
基本的に無料

【お問い合わせ先】

一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会
〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-14-27 KAKIN ビル 4F
電話 022-211-7157
FAX 022-211-6107
メールアドレス info@miyasen.jp
<http://www.miyasen.jp>
※最新の情報は HP 等でご確認ください。

スポーツ・エンターテインメント

八木山ベニーランド

観覧車で仙台市内を一望しよう

施設概要

八木山動物公園に隣接する山の上にある遊園地。観覧車による展望、八木山サイクロン、海賊船パイラット、コークスクリュー、メガダンスなどスリルのある乗り物も多数そろっています。



見学体験概要

様々な乗り物に乗ってスリルを味わいます。4つのジェットコースターはじめ、絶叫系からなごみ系まで、大小約30のマシンが楽しめます。

- ① 遊園地には、どんな施設や仕事があるのだろうか。
- ② お客様に楽しんでいただくためには、どんな工夫や苦労があるのだろうか。
- ③ 接客サービスで大切なことは、どんなことだろうか。

【インフォメーション】

見学体験実施時間
見学体験所要時間
予約

案内人・指導員

交通案内

大型バス駐車

休業日

9:15～16:45（11月～12月は16:15迄）

2～3時間

要予約

なし（要望により可）

地下鉄東西線「八木山動物公園駅」下車、東1出口より徒歩5分
可（有料）

令和5年：11/7～8、11/14～15、11/21、11/27～11/30

12月の平日、12/25～12/31

令和6年：1/4～5、1/9～3月上旬

※HPにてご確認ください

料金

学校関係 特別割引券	フリーパス（20名以上） 入園料と乗り物乗り放題
中学・高校生	2,800円
小学生	2,000円

※その他各種料金有り

【お問い合わせ先】

(株)エイトリー 八木山ベニーランド

〒982-0837

仙台市太白区長町越路 19-1

電話 022-229-1603

FAX 022-228-0920

<https://www.benyland.com/>

※最新の情報はHP等でご確認ください



スポーツ・エンターテインメント

楽天モバイルパーク宮城

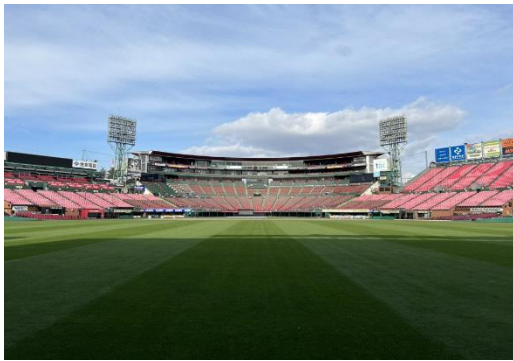
美しい天然芝が広がるボールパーク

施設概要

東北楽天ゴールデンイーグルスの本拠地『楽天モバイルパーク宮城』は、2023 シーズンで 73 年目を迎える歴史あるスタジアムです。

2004 年に楽天イーグルスが球界参入決定後、スタジアム内の様々な箇所の改修工事を行いました。

外野席後方には日本で初めてスタジアム内に観覧車やメリーゴーラウンド等の各種アトラクション、さらに宿泊施設がオープンし、2022 年には「日本野球聖地・名所 150 選」としても認定されるなど魅力あるボールパークとして日々進化しています。



見学内容

スタジアムを独り占めできるチャンス！

知識豊富なツアーガイドが、スタジアムの豆知識や裏側を特別にご案内いたします。

■体験内容例

- ・選手の気分になってフィールドに入ってみよう
- ・選手が実際に使っていたバットを触ってみよう
- ・シーズンシートのお客様しか入れない特別なお部屋に入ってみよう。



【インフォメーション】

見学可能時間

10:00～17:00（最終スタート 16:00）

見学所要時間

約 60 分

予約

要予約

案内人

あり

受入可能人員

5 名様～（上限人数は要相談）

アクセス

J R 宮城野原駅から徒歩 5 分 仙台東 IC から車で約 15 分 仙台宮城 IC から車で約 20 分

大型バス駐車

可（要予約）

受入日

詳細は球団公式サイト（下記）をご覧ください。

料金

詳細は球団公式サイト（下記）をご覧ください。

【お問い合わせ】

株式会社楽天野球団

〒983-0045

宮城県仙台市宮城野区宮城野 2-11-6

電話 050-5817-0900

音声ガイダンス 5 番（10:00～18:00/不定休）

FAX 022-298-2031

<https://www.rakuteneagles.jp/stadium/ballparktour/index.html>



スポーツ・エンターテインメント		
カメイアリーナ仙台(仙台市体育館)		
スポーツ観戦・健康づくりは、みんなの仙台市体育館で！		
施設概要 1984年の竣工以来、仙台市のスポーツイベント・式典開催の拠点として広く利用されています。プロチームの公式試合、「仙台市はたちの集い」など、晴れ舞台の会場となる一方、温水プールやトレーニング室を有し、一般の方も気軽に利用できる複合運動施設です。 日頃の健康づくりに役立つイベントや、年間 50 種類以上のスポーツ教室を主催しており、地域の皆様に親しまれています。近年は人気漫画作品の舞台として描かれたことからファンの聖地巡礼スポットとなっており、国内だけでなく海外からも見学者が多く訪れています。		見学体験概要 職員等による施設紹介を行います。普段開放していない選手控室や、マイケル・ジョーダンから寄贈されたバスケットボール、メインアリーナの観覧席、軽運動場などの諸室をご案内します。 ※施設予約状況により案内内容の変更有り 
見学体験実施時間 見学体験所要時間 予約 案内人・指導員 受入可能人数 交通案内 大型バス駐車 休業日 入場料	【インフォメーション】  10:00～17:00 (最終スタート 16:00) 30 分程度 要予約 有り 5 名程度 (応相談) 仙台市営地下鉄南北線「富沢駅」下車後、案内板に従って徒歩約 5 分 2 台 保守点検日 (月 1 回)、年末年始(12/28～1/4) 無料	
【お問い合わせ先】 カメイアリーナ仙台(仙台市体育館) 〒982-0032 住所：仙台市太白区富沢 1-4-1 電話：022-244-1111 FAX：022-244-1115 URL：https://www.spf-sendai.jp/scg/		

スポーツ・エンターテインメント

ユアテックスタジアム仙台

熱気と歓声を包み込む劇場型スタジアム

施設概要

サッカー・ラグビー・アメリカンフットボールの専用球技場で観客席を覆う屋根がプレーヤーと観客の熱気と歓声を包み込むことで一体となり興奮と感動を創り出す『劇場型スタジアム』です。Jリーグベガルタ仙台のホームスタジアムとしてもおなじみです。



見学体験概要

普段は足を踏み入れることのない選手控室やウォーミングアップ場で選手の気分を体感したり、観客席からピッチを眺めたりと、スタジアムを満喫していただけます。また、日本代表をはじめとしてスタジアムに縁のある選手・団体から寄贈されたグッズが並ぶ展示室もオススメです。

【インフォメーション】

見学体験可能時間

9:00～16:00（午前最終案内 11:20～、午後最終案内 15:20～）

見学体験所要時間

45 分程度

予約

要予約

案内人・指導員

あり

受入可能人員

1 名様～

交通案内

地下鉄南北線「仙台駅」より 16 分「泉中央駅」下車、徒歩 4 分

大型バス駐車

可

休業日

月曜日

入館料

無料

【お問い合わせ先】

ユアテックスタジアム仙台

〒981-3131

宮城県仙台市泉区七北田字柳 78

電話 022-375-7800

FAX 022-375-7744

E-mail sensta@dream.jp



大学

石巻専修大学

小・中学校、高等学校の生徒の皆さんの学校訪問に最適な環境

施設概要

石巻専修大学は、140年の伝統を有する専修大学が平成元年に開学した大学です。北上川の河口近くに位置し、東京ドームの10倍という広大な敷地にキャンパスがあります。



見学概要

担当スタッフが学内施設をご案内します。

主な見学場所は、自動車工学センター、情報教育研究センター、図書館などを予定しています。学生食堂ではメニュー豊富な中から食事をとることができます。

また、大学教員の講演や実験を体験できる場合もあります（要事前相談）。



【インフォメーション】

見学実施時間

9:00～17:00

見学所要時間

60分～（ご希望の時間に合わせてご案内します）

受入人数

200人程度まで

予約

要予約（配布資料等の都合上、事前にお申込みください）

案内人

担当職員が対応します

交通案内

JR 仙石線・石巻線「石巻駅」下車、ミヤコーバスで約20分

大型バス駐車

高速バス「仙台駅西口エデン前21番のりば」乗車、「石巻専修大学」下車

休業日

土日・祝祭日、その他大学が指定する日

入場料

無料

【お問い合わせ先】

石巻専修大学 事務課（学務担当）

〒986-8580

宮城県石巻市南境新水戸1

電話 0225-22-7716

FAX 0225-22-7710

<https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/>

※最新の情報はHP等でご確認ください



大学（記念碑等）

学校法人朴沢学園 仙台大学

温故知新 ～建学の故（ふる）きを温（たず）ねて～

法人概要

仙台大学設置法人創設者 朴澤三代治は、明治12年、近代日本創造への女性参画に資するべく仙台市本荒町（現在の一番町）に「松操裁縫私塾」を開設。創意工夫に優れ、従来の寺子屋方式に代えて、「ひな型」を利用した一斉授業方式を日本で初めて編み出しました。

明治17年、朴澤三代治は、日本初の指導書となる「裁縫教授書」を出版し、当時の文部省はこれを「検定教科書」として小学校裁縫教科書用に採用しました。これらの指導方法を慕い、明治初期にも拘らず、熊本県をはじめ、20を超える都道府県から仙台的地に教え子が集まり、学業終了後故郷に戻り、裁縫教育を通じて日本の近代化に貢献しました。



見学概要

大学キャンパス（船岡）

① 「学徒動員の碑」

仙台大学開設前のこの地は旧海軍火薬廠（製造工場）で、戦時中、学徒動員の場となりました。平成7年に「追悼五十年の記念行事」が行われ、碑が建立されました。歌人で東北大学教授の故扇畑忠雄氏の学徒動員にちなんだ歌碑も建っております。



② 陳大可墨蹟選

（ちんたいか・ぼくせきせん）
中国・長春市の東北師範大学客員教授で元柴田町教育長の故鈴木貴氏を通じ、開学30周年および大学院開設の記念の年に寄贈された長春市の書家陳大可氏による、中国古事に関する「書額」が多数学内に飾られています。



【インフォメーション】

見学実施時間

9:00～17:00

見学所要時間

30～60分程度

受入人数

30人程度（ご相談下さい）

予約

要予約（前もって大学にご一報ください）

案内人

仙台大学職員

交通案内

仙台駅からJR東北本線（上り線）に乗り、「船岡駅」下車徒歩10分（仙台駅～船岡駅 31分）※HPにアクセス情報あり、ご参照ください

大型バス駐車

学外駐車場あり

休業日

土日祝日、夏季休業日、年末年始、大学の行事日他（ご相談下さい）

入場料

無料

【お問い合わせ先】

仙台大学

〒989-1693

宮城県柴田郡柴田町船岡南 2-2-18

電話 0224-55-1121

FAX 0224-57-2769

<https://www.sendaidaigaku.jp/>



大学

東北学院大学 土樋キャンパス

歴史的優美さと都市が融合した学習環境

施設概要

1886年に創立された「仙台神学校」を前身とする、東北最大の私立総合大学です。

土樋キャンパスは、仙台市中心部に位置し、利便性の良い環境にあります。2023年4月に開学した「五橋キャンパス」へは、徒歩約7分で移動できます。登録有形文化財に登録されている本館、ラーハウザー記念東北学院礼拝堂、大学院棟など、歴史的・文化的遺産の美しい建物と、一般の方も利用可能なカフェが併設されている現代的な校舎が一体化した、魅力的なキャンパスです。



見学概要

学生又は職員による大学紹介の後、キャンパスツアーとして登録有形文化財である礼拝堂、学生同士が学びを共有できるラーニング・コモンズ、東北地方の大学で屈指の蔵書数を誇る図書館、学生が集う学生食堂等の施設をご案内します。

土樋キャンパスの見学を通して、自分が将来どんなことを勉強し、どんな大学生活を送るのか考えてみましょう。



【インフォメーション】

見学実施時間

9:30～16:00（平日のみ）

見学所要時間

60分～

受入人数

80名まで（80名以上の場合はご相談ください）

予約

見学希望日の3週間前までに専用のホームページよりお申し込みください。

案内人

学生スタッフ又は担当職員

交通案内

地下鉄南北線「五橋駅」から徒歩5分

大型バス駐車

可（お申し込み時にご相談ください）

休業日

土曜日・日曜日・祝日、その他大学の行事日等

料金

無料

備考

見学をご希望の場合は、専用のホームページからお申し込みください。

【お問い合わせ先】

東北学院大学 土樋キャンパス総務課

〒980-8511

仙台市青葉区土樋 1-3-1

電話 022-264-6421

FAX 022-264-3030

【見学申し込みはこちらから】

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/campus-tours/>

※最新の情報はホームページ等でご確認ください。



大学

東北学院大学 五橋キャンパス

学都仙台における交流拠点 地域と共創する文理融合型キャンパス

施設概要

1886年に創立された「仙台神学校」を前身とする、東北最大の私立総合大学です。

2023年4月に開学した五橋キャンパスは、地下鉄五橋駅直結、JR仙台駅からも徒歩約15分の好立地です。また、土樋キャンパスへも徒歩約7分で移動することができます。キャンパス内には、「TGUリング」と呼ばれるペDESTリアンデッキがあり、対話や交流の場として学生同士のシナジー効果を高めます。新しい時代に対応した文理融合型キャンパスです。



見学概要

学生又は職員による大学紹介の後、押川記念館のパイプオルガンがあるホールや学生食堂、最新の研究が行われている研究棟、授業が行われる講義棟、学生同士が学びを共有できるシュネーダー記念館のコラトリエ・ライブラリー等をご案内します。

五橋キャンパスの見学を通して、自分が将来どんなことを勉強し、どんな大学生活を送るのか考えてみましょう。



【インフォメーション】

見学実施時間

9:30～16:00（平日のみ）

見学所要時間

60分～

受入人数

80名まで（80名以上の場合はご相談ください）

予約

見学希望日の3週間前までに専用のホームページよりお申し込みください

案内人

学生スタッフ又は担当職員

交通案内

地下鉄南北線「五橋駅」直結

大型バス駐車

可（お申し込み時にご相談ください）

休業日

土曜日・日曜日・祝日、その他大学の行事日等

料金

無料

備考

見学をご希望の場合は、専用のホームページよりお申し込みください

【お問い合わせ先】

東北学院大学 五橋キャンパス総務課

〒984-8588

仙台市若林区清水小路3-1

電話 022-354-8100

FAX 022-354-8105

【見学申し込みはこちらから】

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/campus-tours/>

※最新の情報はホームページ等でご確認ください。



大学（ギャラリー・ホール）

東北工業大学 一番町ロビー

地域と大学が一体となる場

施設概要

地域と大学の交流の場として、2003年（平成15年）に一番町に開設しました。1階ギャラリーでは、本学学生・教員の研究成果の発表はもちろんのこと、一般の方や地域の工芸品の作品展示を行っております。2階ホールでは、本学教員による市民向けに開設する講座や博物館・美術館の出前講座などを開催しております。



見学概要

1 階ギャラリーでは、学生や教職員、本学関係者が企画する作品などの展示や、少人数のゼミ、地域活性化の活動の展示発表などを、多くの人が行き交う道に面した明るいギャラリーで、ゆっくり鑑賞することができます。

2 階ホールは、市民向けの講座やイベントなどを開催している際にご参加いただけます。

見学実施時間

見学所要時間

受入人数

見学予約

交通案内

駐車場

休業日

入場料

【インフォメーション】

[1F ギャラリー] 10:00～17:30（展示最終日は 16:00 まで）

[2F ホール] ご相談ください

[1F ギャラリー] 20 分程度

[2F ホール] ご相談ください

ご相談ください

見学希望日の 2 週間前までにお申込みください

地下鉄東西線「青葉通一番町駅」から徒歩 3 分

無

水・木曜日、夏季・年末年始（HP や掲示にてお知らせ）

無料

【お問い合わせ先】

東北工業大学一番町ロビー

〒980-0811

仙台市青葉区一番町 1-3-1

TMビル

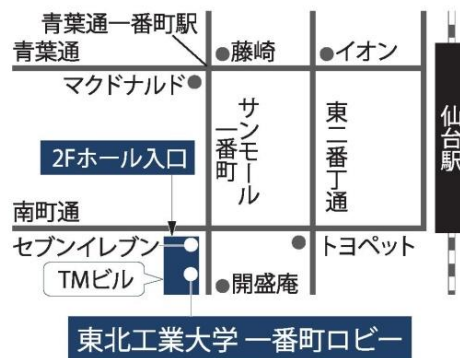
電話 022-723-0538

FAX 022-263-8606

Email lobby@tohtech.ac.jp

<https://www.tohtech.ac.jp>

※最新の情報は HP 等でご確認ください



大学（ライブラリー）

東北大学附属図書館

世界中の学術情報をここで入手

施設概要

東北大学附属図書館は、川内キャンパスの本館と各キャンパスの4つの分館、研究科・研究所等の図書室からなり、本学の教育・研究の支援を行っています。

本館では、豊富な学習用・研究用資料を所蔵しており、本学の学生や教職員のほか、一般市民の皆様も一部の資料を除き予約なしでご利用いただけます。また、企画展を定期的に開催しており、普段目にすることが少ない貴重な資料の展示を行っています。図書館の利用・企画展の詳細については、図書館ウェブサイト等をご覧ください。



見学体験概要

館内施設や所蔵資料、学習スペースなどを見学することができます。学校単位等での体験学習についてはご相談に応じます。



【インフォメーション】

見学実施時間

平日 9:00～16:00

見学所要時間

30 分程度

受入人数

要相談 ※1 グループ 5 人程度で 3 グループ程度まで

予約

見学希望日の 2 週間前までに、ウェブサイトの所定のフォームからお申込みください。

案内人

図書館職員

交通案内

駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください
地下鉄 東西線「川内駅」下車徒歩 5 分。

大型バス駐車

不可

休業日

年末年始、お盆期間前後

入館料

無料

【お問い合わせ先】

東北大学附属図書館（本館）

総務課情報企画係

〒980-8576

仙台市青葉区川内 27-1

電話 022-795-5911

FAX 022-795-5909

E-mail lib-som@grp.tohoku.ac.jp

<https://www.library.tohoku.ac.jp>

※最新の情報は HP でご覧ください



大学

東北大学金属材料研究所本多記念館

本多記念室、資料展示室

施設概要

「本多記念館」は、昭和 16 年落成した金属材料研究所・研究棟の面影を今に残す建物です。平成 6 年には、内部壁面の補強や内装などの改修整備工事を行いました。工事に際し玄関ホールや階段周辺の大理石を保存するなどの配慮がなされ、落成当時から受け継がれる材料開発研究の歴史を感じることができます。令和 3 年には登録有形文化財（建造物）に登録されました。

当館にある「本多記念室」には、本所初代所長・本多光太郎博士が生前に使用された各種の実験ノートや様々な写真など博士を偲ぶ遺品の数々が、また、併設の「資料展示室」には、今日まで金属材料研究所が研究開発し、その指導により企業化された KS 永久磁石鋼をはじめとする各種の新素材やその製品などが常時展示されています。



本多記念室



資料展示室

見学概要

本多記念館は現在、東北大学金属材料研究所の事務部棟として用いられていますが、本多記念室、資料展示室は随時見学可能です。（案内人希望の場合は要事前予約）。

【インフォメーション】

見学実施時間

9:00～16:00

見学所要時間

約 30 分

受入人数

要相談

予約

見学希望日の 10 日程度前までにご連絡ください

案内人

職員が対応（要予約。予約時に案内人希望と記載。なお、ご希望に添えない場合もございますことあらかじめご了承ください）

交通案内

仙台駅よりタクシー（約 10 分） 仙台駅より徒歩（約 15 分）

仙台駅よりバス（約 10 分＋徒歩 5 分）仙台駅西口バスターミナル 11 番のりばより市営バス 701 系統（八木山動物公園駅行き）乗車、「東北大正門前」で下車

仙台駅より地下鉄（約 2 分＋徒歩 8 分）地下鉄東西線仙台駅より八木山動物公園行に乗車、「青葉通一番町」駅下車

大型バス駐車

要相談

休業日

土日・祝日・お盆・年末年始

入場料

不要

【お問い合わせ先】

東北大学
金属材料研究所情報企画室広報班
〒980-8577

仙台市青葉区片平 2-1-1

電話 022-215-2144

FAX 022-215-2482

E-mail pro-adm.imr@grp.tohoku.ac.jp

<https://www.imr.tohoku.ac.jp/>

※最新の情報は HP 等でご確認ください



大学

東北大学金属材料研究所

1 号館ロビー

施設概要

大正 10 年に旧財閥の住友家の支援のもとに完成された東北大学金属材料研究所旧 1 号館は、当時不可欠であった磁性材料の特性評価を高い精度で実施するため、鉄筋を用いず赤煉瓦とコンクリートのみによって建造されました。

現 1 号館は、昭和 62 年に建てられたものですが、このような独特の技法による旧 1 号館の面影を残すため、1 号館ロビーに、その壁面の一部を保存しています。



見学概要

旧 1 号館の壁面以外にも、金属材料研究所の最新の研究活動を紹介したパネルや、最先端の材料を展示しているラウンジもご覧いただけます。

【インフォメーション】

見学実施時間

9:00～16:00

見学所要時間

見学所要時間約 10 分

受入人数

要相談

予約

見学希望日の 10 日程度前までにご連絡ください

案内人

職員が対応（要予約。予約時に「案内人希望」と記載。なお、ご希望に添えない場合もございますことあらかじめご了承ください。）

交通案内

仙台駅よりタクシー（約 10 分） 仙台駅より徒歩（約 15 分）
仙台駅よりバス（約 10 分＋徒歩 5 分）仙台駅西口バスターミナル 11 番のりばより市営バス（八木山動物公園駅行き）乗車、「東北大正門前」で下車
仙台駅より地下鉄（約 2 分＋徒歩 8 分）地下鉄東西線仙台駅より八木山動物公園行に乗車、「青葉通一番町」駅下車

大型バス駐車

要相談

休業日

土日・祝日・お盆・年末年始

入場料

無料

【お問い合わせ先】

東北大学
金属材料研究所情報企画室広報班

〒980-8577

仙台市青葉区片平 2-1-1

電話 022-215-2144

FAX 022-215-2482

E-mail pro-adm.imr@grp.tohoku.ac.jp

<http://www.imr.tohoku.ac.jp/>

※最新の情報は HP 等でご確認ください



大学

東北芸術工科大学

自然豊かな蔵王山麓に位置する東北唯一の芸術大学

施設概要

東北唯一の芸術大学として 1992 年 4 月に開学。地域社会と共生しながら、地域史や文化に育まれた精神と英知を理解し、新しい世界観の創生へと結集させて次世代に手渡すという決意を「東北ルネサンス」に込めています。

人と自然を思いやる「想像力」と、社会を変革する「創造力」を身につけた、芸術とデザインの力で社会の抱える様々な課題を解決できる人材育成を目指しています。教育目標として、1) 本質を見ようとする姿勢、純粋な目。2) 問題提起と解決への強い意志。3) 想いを形にできる力。4) 人と社会への積極的協調・実践。の 4 項目を学生が身につけるべき力としています。産学官連携も積極的に取り入れ、一人ひとりの学生が、未来を生きるための力と、社会を変革していく力を持てる教育の実現を進めています。



見学概要

山形市街地を一望できる展望デッキから、月山を望むロケーションや大学裏手にある公園「悠創の丘」の季節の風景をご覧いただけます。

また、本館 7 階ギャラリーでは、在学生の作品展や大学主催の企画展など（不定期）をご覧いただけます。

【インフォメーション】

見学実施時間

10:00～16:00（土日祝日を除く）

見学所要時間

30 分程度

受入人数

お問い合わせください。

予約

見学希望日の 10 日前までお申し込みください

案内人・指導員

お問い合わせください

交通案内

路線バスか自家用車などをご利用ください

大型バス駐車

可能（台数等ご相談ください）

休業日

土日祝日、夏季休業日、年末年始、大学行事日
（事前にお問い合わせください）

入場料

原則無料

【お問い合わせ先】

東北芸術工科大学

〒990-9530

山形県山形市上桜田 3-4-5

電話 023-627-2000(代表)

FAX 023-627-2185

<https://www.tuad.ac.jp/>

